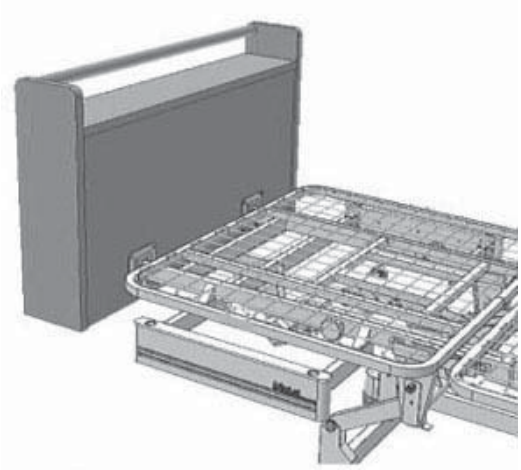
Platz プラッツ

取扱説明書

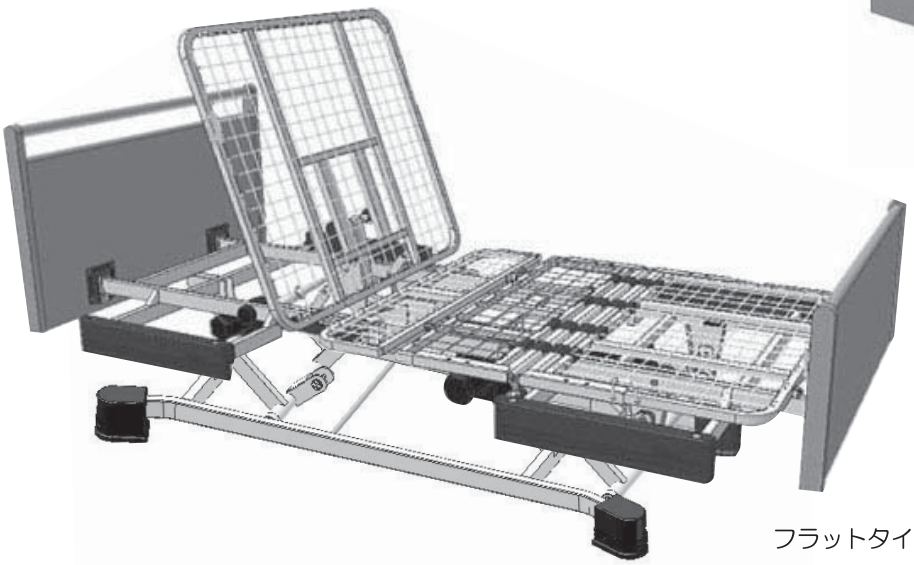
MioLet

介護保険レンタル対応
在宅介護用ベッド

（背上げ1モーターベッド）PZB-M1RJB,M1RJB/M
（昇降1モーターベッド）PZB-M1RJH,M1RJH/M
（2モーターベッド）PZB-M2RJ,M2RJ/M
（3モーターベッド）PZB-M3RJ,M3RJ/M



宮付タイプ
（商品型式：PZB-M2RJ/M）



フラットタイプ
（商品型式：PZB-M2RJ）

この度は、介護保険レンタル対応 在宅介護用ベッド「ミオレット」をお買上げいただき、
誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」は、組立て及びご使用の前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますよう
お願い致します。

●介護が必要な方がお使いになる場合は、介護する方もこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
●この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管し、いつでも確認できるようにして下さい。
●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書も一緒にお渡し下さい。
●この製品は、改良などの理由により取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。予めご了承ください。
●ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

株式会社プラッツ

もくじ

ページ

○安全にご使用いただくために（ご使用前の警告と注意）…… 2
○安全にご使用いただくために（ご使用上の警告と注意）…… 3～5
○停電時の注意…… 5
○リフトご使用時の注意…… 5
○ベッドの設置について…… 6
○開梱と部品の確認…… 7～9
○各部の名称…… 10
［ベッドの組み立て方］・ベースフレームとセンターフレームの組み立て… 11～13
・ヘッドフレームの取り付け…… 14～15
［背、脚用モーターの取り付け］
・３モーターのコード取付け…… 16～17
・２モーターのコード取付け…… 18
・背上げ１モーターのコード取付け…… 19
○フットフレームの取り付け …… 20
○ひざ、脚ボトムの取り付け …… 20
○背ボトムの取り付け …… 21
○ヘッド、フットボードの取り付け …… 21
○電源コードの取り回し …… 22
○マットレスストッパーの取り付け …… 22
○背ひざ連結バーの切り替え方 …… 23
○手元スイッチの使い方 …… 24～25
○操作の仕方… …… 26
○フィッティングバーの設定 …… 27
○ベッドの分解方法 …… 28～32
○移動について …… 33
○お手入れについて …… 33
○故障について …… 34
○保証とアフターサービス …… 35
［モーターの変更］・１モーターから２モーターへ…… 36
・１モーターから３モーターへ…… 37
・２モーターから３モーターへ…… 38
・３モーターから２モーター、１モーターへ…… 39
［商品の仕様］（PZB-M１RJB、PZB-M１RJB/M）…… 40
（PZB-M１RJH、PZB-M１RJH/M）…… 41
（PZB-M２RJ、PZB-M２RJ/M）…… 42
（PZB-M３RJ、PZB-M３RJ/M）…… 43
○パーツ型式一覧表 …… 44
○適合周辺機器 …… 44
○レール類の組み合わせ …… 45

使用目的

●ミオレットは、ご家庭での介護を行うことを目的として作られたベッドです。

商品の特徴

●1 つのボタン操作でライジングモーションとバックオフ機能の実現（PZB-M2RJ シリーズ・M1RB シリーズのみ）
●利用者に合わせた脚部のフィッティングが可能（PZB-M1RJH シリーズは除く）
●低床 25 ㎝から 59 ㎝の床面高さ（PZB-M1RJB シリーズは組み立て時に 29/32.5/36/39.5 ㎝に高さ調節が可能）

安全にご使用いただくためために　（必ずお守り下さい）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、ご利用者や他の人々への危害や財産への阻害を未然に防止する為に、色々な絵表示をしております。下記をよくお読み頂き、内容をよく理解してから正しくお使い下さい。

⚠ 警告	この表示の欄は、生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容を記載しています。
⚠ 注意	この表示の欄は、傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容をしめしています。

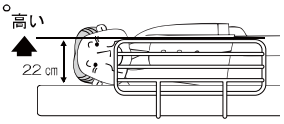
■絵表示の例

禁止　この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

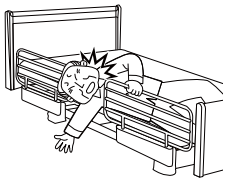
注　この記号は、気をつけて頂きたい「注意喚起」の内容です。

⚠ ご使用前の警告と注意

禁止　体位変換（寝返り等）の際に転落の危険性がありますので、マット面からレールの上まで 22 ㎝以上を確保して下さい。マットレスは、P45「適合周辺機器」で詳細をご確認下さい。
・不適合機器を使用されますと怪我や事故の原因になります。



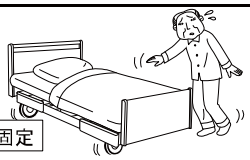
禁止　他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、この取扱説明書で指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないで下さい。
・危険な隙間が発生し、腕や首、頭を挟むなど重大事故の原因になります。



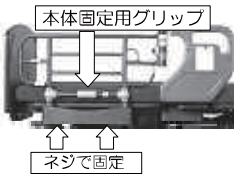
禁止　洪水や火災などで被災したベッドは電源プラグを抜き、使用前に販売店に点検を依頼して下さい。
・電気部品のショートによる火災の原因となります。
・破損部品があると思わぬ怪我をする恐れがあります。

禁止　このベッドは非防水です。屋外では使用できません。
・火災、感電の原因になります。
・尿など水分がモーター、手元スイッチにかかった場合は、電源プラグを抜き使用せず、販売店にご相談下さい。

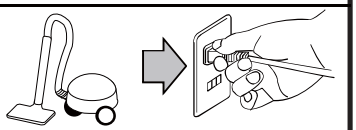
禁止　キャスターを付けた場合、ロックを解除した状態で放置しないで下さい。掃除の際など移動した後は必ずロックして下さい。
・ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動し転倒の危険性があります。
・ベッドが壁にぶつかり破損することがあります。



禁止　ベッド用グリップ（PZR-116J）を使用される場合、本体固定用グリップとベッド下からのネジでしっかりと固定されているか定期的に確認して下さい。
・転倒し怪我や骨折を起こす恐れがあります。
・ネジが取れて無くなった場合、販売店にお問合せ下さい。

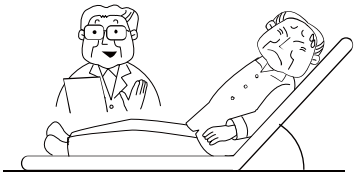


禁止　掃除・点検などでベッド下に入る場合は必ず電源プラグを抜いて下さい。
・誤操作によりベッドに挟まれ重傷事故の恐れがあります。



注　ご使用になられる前に、各部のビス・ボルトが完全に固定されているか、ご確認下さい。
●ビス・ボルトがゆるんでいると、ご使用中にパーツが外れたりすることも考えれられ事故の原因になります。

注　治療中の方やペースメーカーご使用の方は医師に相談して下さい。
・ベッドの操作が、症状を悪化させる可能性があります。
・医師、看護師の指導に従って下さい。
・背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させる事があります。



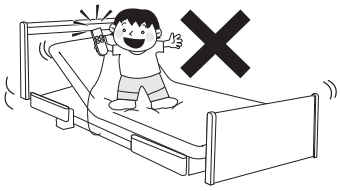
⚠ ご使用上の警告

禁 止

幼児や認知症の方など、操作が理解できないと思われる方がベッドを使われる場合、付添いの方がベッド操作をして下さい。怪我、事故の原因となります。
・ご家族に小さなお子様がいる場合、ベッドを使用しない場合は電源プラグを抜いて下さい。ベッドで遊んで事故や怪我を起こす恐れがあります。

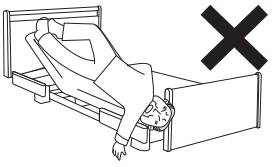
禁 止

ベッドに立った状態でベッドを動かさないで下さい。
・転倒などにより怪我や事故の原因になります。



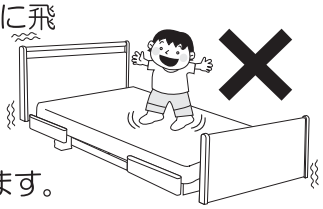
禁 止

ベッドにうつ伏せで寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態でのご使用はしないで下さい。
・背骨を痛めるなど怪我や事故の原因になります。



禁 止

背や脚ボトムを上げた状態で、「ボトムの上に座る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為は絶対にしないで下さい。
・怪我や事故の原因になります。

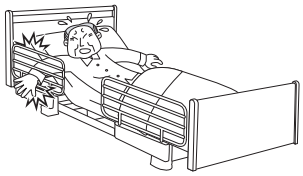


禁 止

モーターの長時間連続使用（5 分以上）はしないで下さい。
・加熱により、温度ヒューズが働き動かなります。
・動かなくなったら販売店にお問合せ下さい。　この場合は修理費が発生します。

禁 止

サイドレールを取り付けてご使用の際に、体の一部（頭、腕、脚）をサイドレールから出した状態で、背・ひざ上げ操作しないで下さい。
・骨折など、怪我をする原因になります。

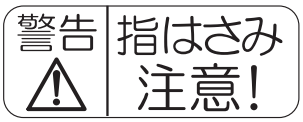


禁 止

電源プラグは濡れた手で触らないで下さい。
・感電する恐れがあります。

禁 止

本体の「指はさみ注意」シールを貼ってある周囲に手をおかないで下さい。
・骨折など、怪我をする原因になります。



禁 止

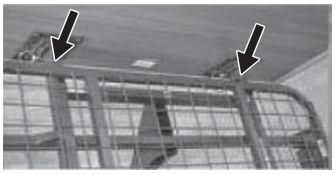
フットボードと脚ボトムの間に空間があります。介護する場合に足が入ることがありますのでご注意下さい。

禁 止

介護度が高い方や、背を上げた時に自分で体を保持できず体が斜めになる方の場合、ロングタイプの BG-96J かベッド用グリップ PZR-116J を P46 の図①、図③、図⑥のように組み合わせて下さい。背を上げると支えがなくなり、ベッドから転倒する危険性があります。

禁 止

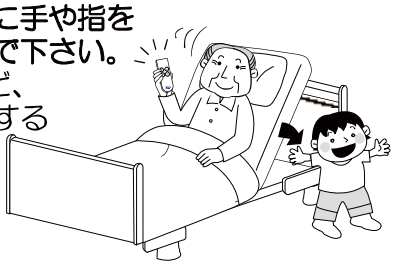
フレームをつかんだ状態で背を下げると、サイドレールやフレームの間で指を挟む危険性があります。



⚠ ご使用上の警告と注意

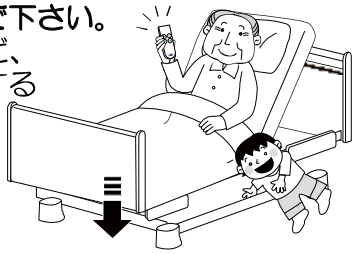
禁 止

各部の操作をする場合、フレームとボトムの間に手や指を入れないで下さい。
・骨折など、怪我をする原因になります。



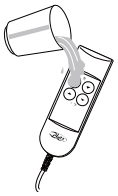
禁 止

ベッドの下にもぐり込んだり、手や足を入れないで下さい。
・骨折など、怪我をする原因になります。



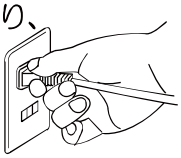
禁 止

濡れた手で手元スイッチ操作をしないで下さい。水などの液体で、手元スイッチや駆動部をぬらさないで下さい。
・ショートして故障、火災や感電の恐れがあります。
・誤作動の原因になります。



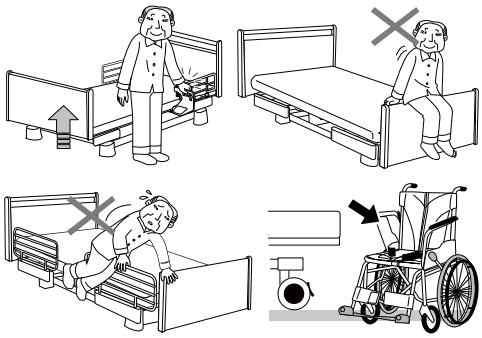
禁 止

電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いて下さい。
・断線・接触不良により、火災の原因、故障の原因になります。



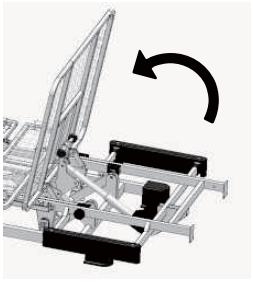
禁 止

ベッドからの乗り降りの際の転倒事故が多発しています。必ず下記の事を守ってご使用下さい。
・ベッド横から乗り降りして下さい。
・サイドレールをまたいだり、ヘッド / フットボードをまたいだりしないで下さい。
・睡眠薬を服用の際は、医師から指示された時間内にベッドから立ち上がることはしないで下さい。
・車いすへの移乗の際は、ベッド、車いすのキャスターがロックされているか確認して、乗り降りして下さい。



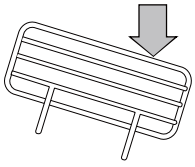
注

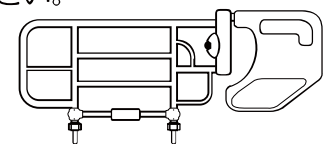
背ボトムを 90 度以上、動かさないで下さい。ローラーが外れたり、ローラーガイドが変形する事があります。



禁 止

サイドレールの端に体重を掛けないで下さい。
・傾いて転倒する恐れがあります。
・過度の荷重をかけると破損する可能性がありますので、立ち上がりに不安のある方は、このベッド指定の「ベッド用グリップ PZR-116J」をご利用下さい。



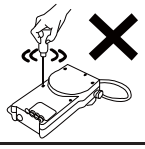


PZR-116J

注

分解・改造はしないで下さい。
・故障や感電の原因になります。

分解禁止

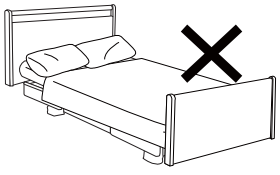


注

ベッド用グリップのスイング部で、足など人体の一部を挟む可能性がありますので、開閉時やベッドの乗り降りの際にはご注意下さい。

注

このベッドは一人専用のベッドです。ベッドを二人以上でご使用にならないで下さい。
リハビリを行う際、ベッドに座る際、勢いをつけ過度に荷重をかけたりしないで下さい。



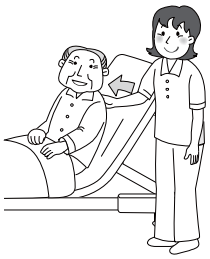
⚠ ご使用上の警告

禁 止

本体に貼ってあるシールは剥がさないで下さい。お客様を危険から守るための物や故障時に素早い対応をする為の物です。
・ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。

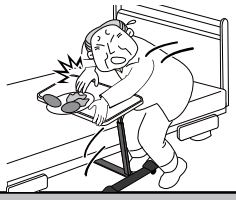
禁 止

介護者の方へ
背ボトムを上げると寝ている人の背中全体に加圧（背圧）が生じ放置すると呼吸困難にもなります。これはどのベッドでも構造上避けることができない現象です。これを解消するために背上げが終わった時に、図の様に背とマットの間に手を入れて背を起こし、背抜き（除圧）してあげて下さい。
・除圧しないと腰痛、床ずれが発生したり、場合により呼吸困難にもなります。



禁 止

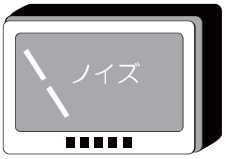
サイドテーブルを使用するときは、図のように体重をかけると転倒する恐れがあります。



⚠ ご使用上の注意

注

モーター作動中にテレビ等にノイズが発生することがございます。予めご了承下さい。



注

温熱治療具などベッドの上で電子治療器を使用される場合は電源プラグを抜いて下さい。

⚠リフト使用時の注意

注

リフトを使用する場合リフトの形状にもよりますが、ベッドの下にリフトの脚を挿入し固定する種類があります。ミオレットの脚部にハイトスペーサー（M2R-35: オプション）を装着することで、有効高さを５㎝から 8.5 ㎝に上げることが可能です。
（M3R・M2R・M1RH 各シリーズ）
M1RB シリーズは同梱しております
延長脚の組み合わせにより、組立時に高さ調節が可能です。使用されるリフトの種類により脚の高さが異なりますので、詳しくは販売店に確認して下さい。

⚠ 停電時の注意

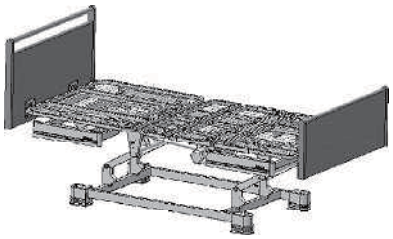
注

停電時には、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。停電時は電動操作ができませんが、復旧した場合は通常通りご使用できます。停電が長引き、かつ背上げしている状態では使用者の方が、腹部の圧迫により呼吸への悪影響がある場合があります。呼吸が苦しそうであれば、ベッドの使用を直ちに中止して下さい。ご利用者をベッドから下ろしていただき、取扱説明書をご覧の上（参考 P15）、モーターのピンを外して下さい。背ボトムを水平状態にし、安全を確認の上、ご利用者をベッドに移乗して下さい。

ベッドの設置・組み立て・分解は販売店もしくは弊社指定の業者にお任せ下さい。

ベッドの設置について

必ず丈夫で水平な床に設置して下さい。



ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）と使用される方の体重(例:80㎏)を合わせると約200㎏の総重量となります。この荷重に十分耐えられる水平な場所へ設置して下さい。
※最大使用者体重：120㎏
フローリングでは滑る事があり危険です。畳の場合は脚部の跡が残ります。ベッド専用のカーペット（PSC-1216SC）をご利用下さい。

おねがい

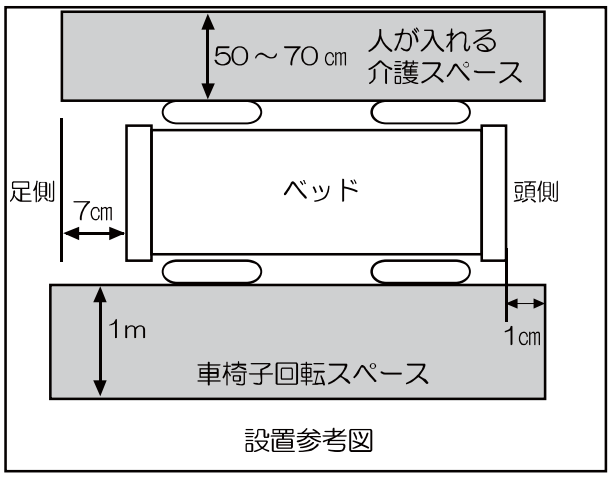
●ベッドの周りは出来るだけ広い空間を確保して下さい。
・療養される方のベッドからの移乗や介護する場合のスペースを充分検討して設置して下さい。

●電源コンセントの位置から10㎝程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにして下さい。

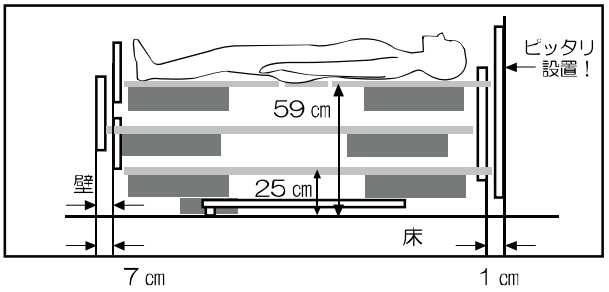
●昇降の際にフットボード側に7㎝程度動きますので、物を置かないようにスペースを確保して下さい。

●頭側は壁から1㎝以上のスペースをあけて下さい。

●ベッドの下に物を置かないで下さい。
・昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾くことがあり危険です。

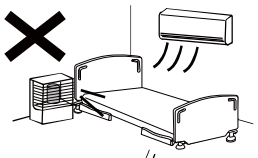


設置参考図



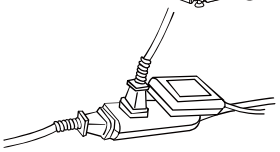
禁止

●ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないで下さい。
・機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



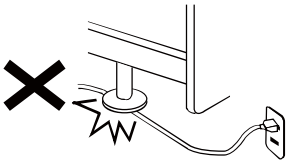
禁止

●配線器具の定格を超える「たこ足配線」や表示された電圧（100V）以外の電圧では使用しないで下さい。
・火災やモーター故障の原因になります。



禁止

●電源コードや手元スイッチのコード等を、引張ったり、はさまないようにして下さい。
・断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



禁止

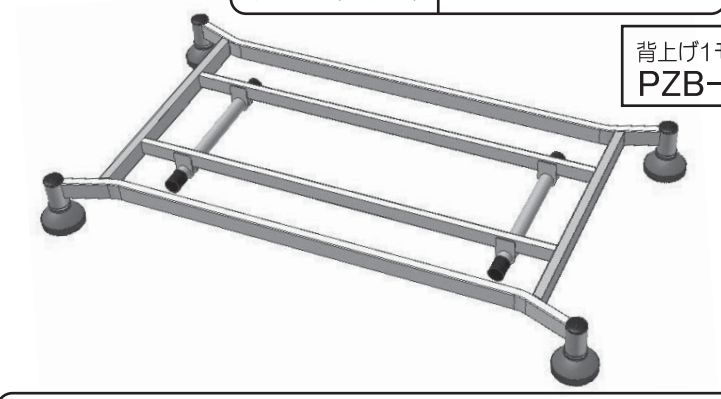
●組み合わせるサイドレール、ベッド用グリップは下記の型式以外は使用しないで下さい。
・危険な隙間が発生し、腕や首、頭を挟むなど重大事故の原因になります。
・BG-53J・BG-75J ・BG-96J・PZR-116J

開梱と部品の確認

●商品が到着した時点で、下記の部品が全て同梱されているか、
また、破損していないか確認してください。
万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社まで御連絡下さい。

梱包（1/5）｜ベースフレーム

1

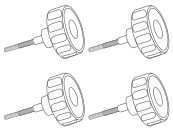


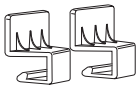
背上げ1モーターベッド
PZB−M1RJB,PZB−M1RJB/M

■付属品

取扱説明書（本書）

保証書


ノブボルト×4


マットレス
ストッパー×2

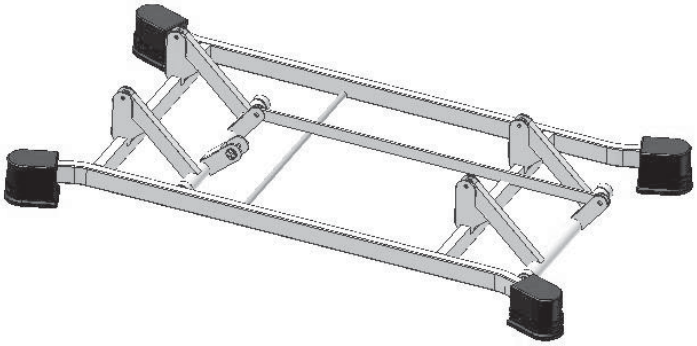
ピン×1

割りピン×3

昇降1モーターベッド
PZB−M1RJH,M1RJH/M

2モーターベッド
PZB−M2RJ,M2RJ/M

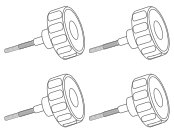
3モーターベッド
PZB−M3RJ,M3RJ/M

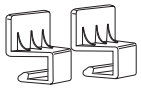


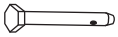
■付属品

取扱説明書（本書）

保証書


ノブボルト×4


マットレス
ストッパー×2


ピン×1

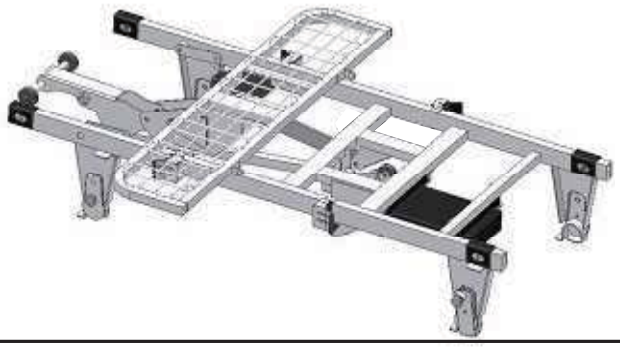
割りピン×3

*昇降1モーターベッドPZB-M1RJHシリーズは、割りピンは2本しか使用しません。

開梱と部品の確認

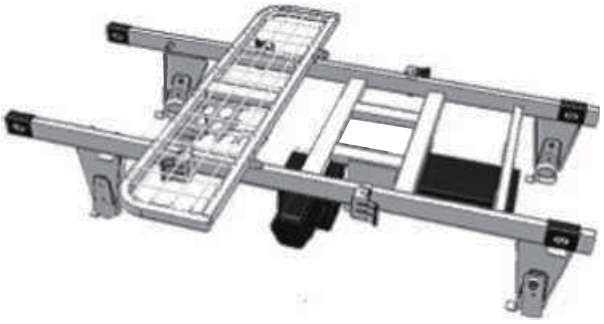
梱包（2/5）| センターフレーム

2



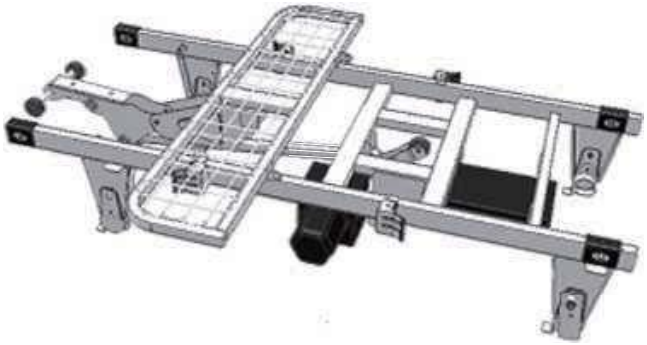
背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJB,M1RJB/M

- ○トランス×1
- ○手元スイッチ×1
- ○電源コード
- ○三又コード



昇降1モーターベッド
PZB-M1RJH,M1RJH/M

- ○昇降モーター×1
- ○トランス×1
- ○手元スイッチ×1
- ○電源コード



2モーターベッド
PZB-M2RJ,M2RJ/M

- ○昇降モーター×1
- ○トランス×1
- ○手元スイッチ×1
- ○電源コード

3モーターベッド
PZB-M3RJ,M3RJ/M

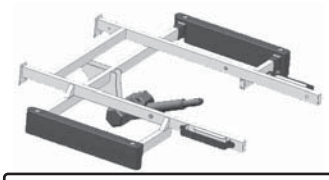
- ○昇降モーター×1
- ○脚上げ用モーター×1
- ○トランス×1
- ○手元スイッチ×1
- ○電源コード
- ○分配器

開梱と部品の確認

梱包（3/5） ヘッドフレーム・フットフレーム

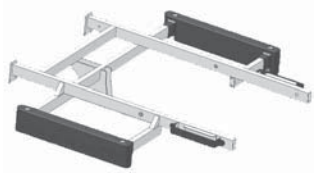
背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJB・M1RJB/M
2モーターベッド
PZB-M2RJ・PZB-M2RJ/M
3モーターベッド
PZB-M3RJ・PZB-M3RJ/M

ヘッドフレーム×1



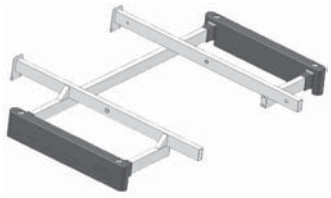
○背上げ用モーター×1
○ヘッドボード固定ピン×2

昇降1モーターベッド
PZB-M1RJH・M1RJH/M



○ヘッドボード固定ピン×2

フットフレーム×1
共　通

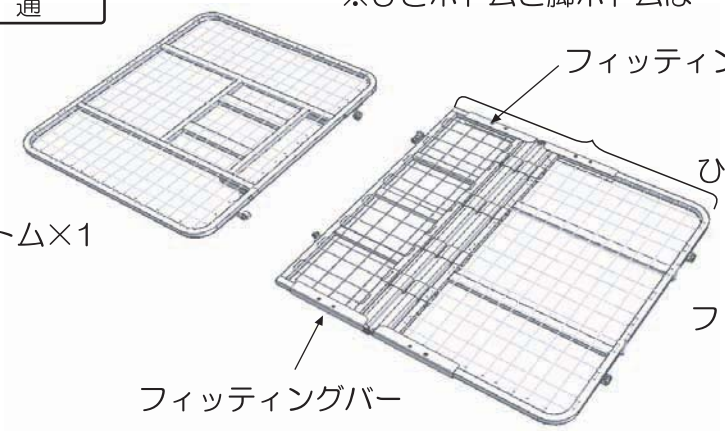


○フットボード固定ピン×2

梱包（4/5） 背ボトム、ひざ・脚ボトム

共　通

※ひざボトムと脚ボトムは一体で、取り外しは致しません

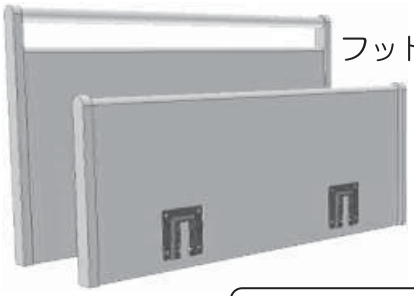


フィッティングバー固定ピン×8

梱包（5/5） ヘッドボード・フットボード

共　通

ヘッドボード×1

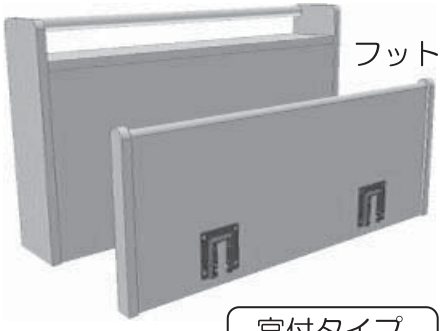


フットボード×1

フラットタイプ

共　通

ヘッドボード×1

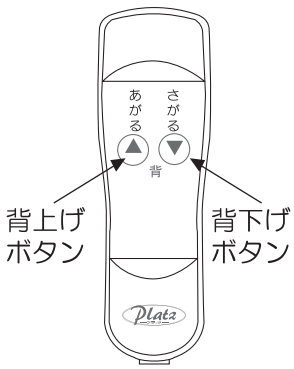
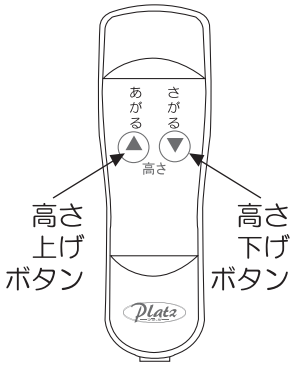
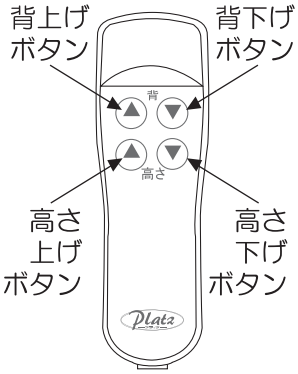
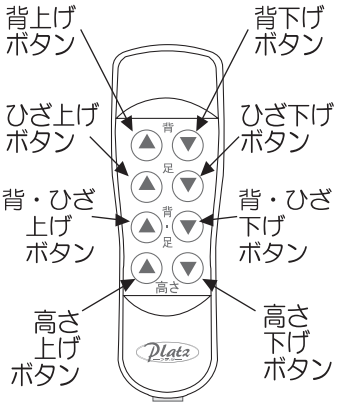


フットボード×1

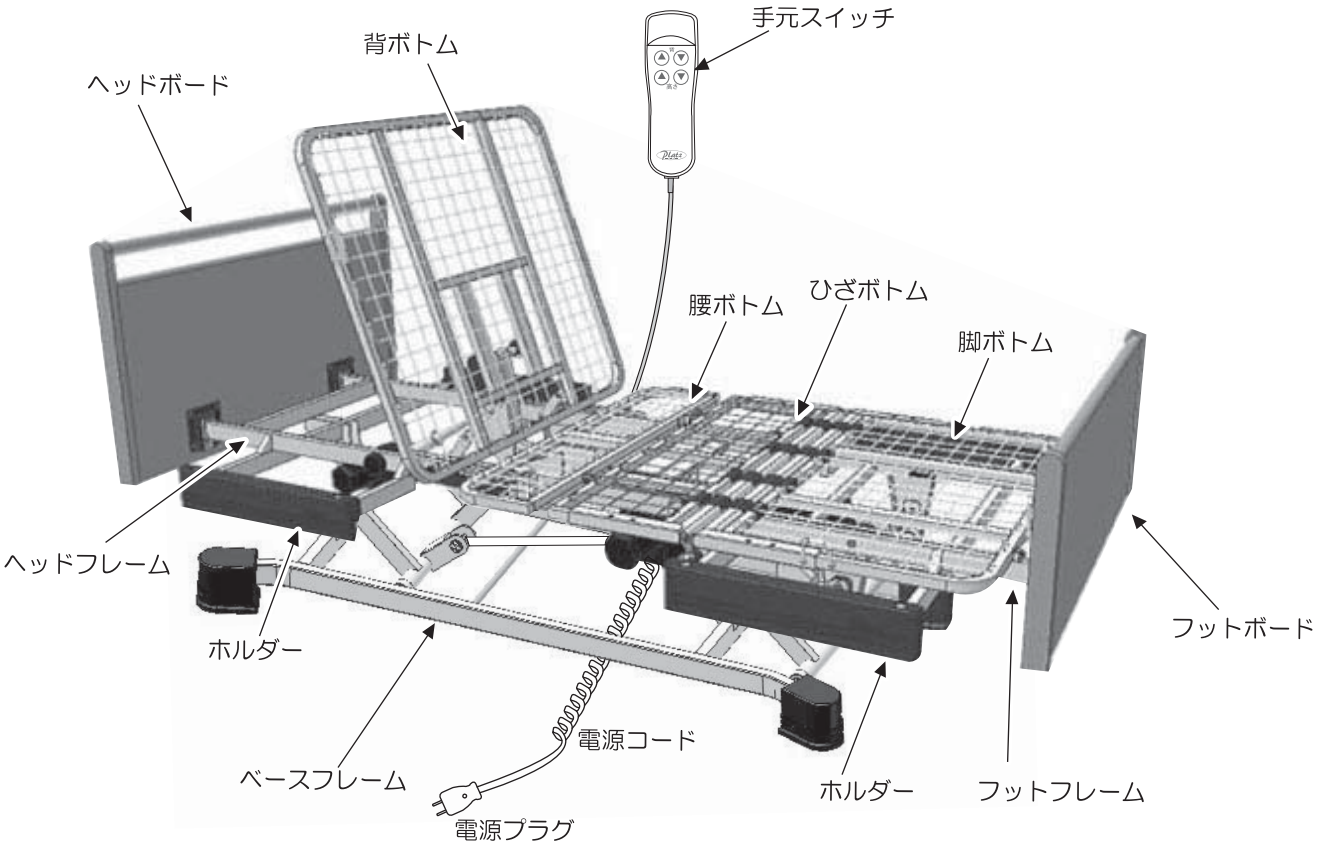
宮付タイプ

各部の名称

手元スイッチ

背上げ1モーターベッド PZB-M1RJB・ PZB-M1RJB/M	昇降1モーターベッド PZB-M1RJH・ PZB-M1RJH/M	2モーターベッド PZB-M2RJ・ PZB-M2RJ/M	3モーターベッド PZB-M3RJ・ PZB-M3RJ/M
			

＊仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります



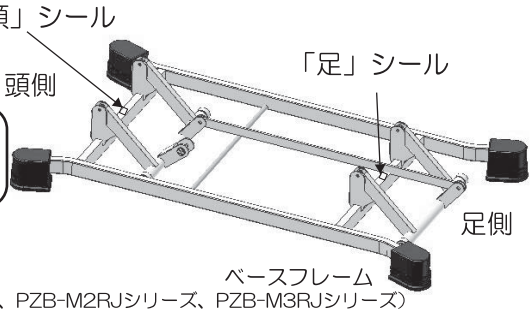
ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

⚠ 注意 | 組み立ての際に、手や指を挟まないようにご注意下さい。

1

ベースフレームを準備します。頭、足側の位置を確認して下さい。

ベースフレーム
梱包（1/5）

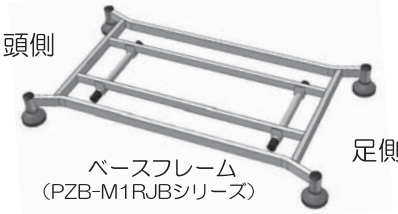


（PZB-M1RJHシリーズ、PZB-M2RJシリーズ、PZB-M3RJシリーズ）

※ 移動用のキャスターM2RJ-8CKS（オプション）を取り付けることが可能です。取り付け方法はキャスターセットに同梱しております取扱説明書をお読み下さい。キャスターを取り付けた場合のM3RJシリーズ、M2RJシリーズ、M1RJHシリーズの床面高さは30㎝～64㎝になります。

※ 床面高さを35㎜上げるためのハイトスペーサーM2RJ-H35（オプション）の取付けが可能です。
取付け方法はハイトスペーサーに同梱しております取扱説明書を、お読み下さい。（なお、ハイトスペーサーを取付けた場合のM3RJシリーズ、M2RJシリーズ、M1RJHシリーズの床面高さは28.5㎝～62.5㎝になります。）

背上げ1モーターベッドPZB-M1RJBシリーズ



※移動用のキャスター（オプション）を取り付けることが可能です。
PZB-M1RJBシリーズの専用キャスターはV310-8CKです。取付けた場合の床面高さは32.5㎝です。

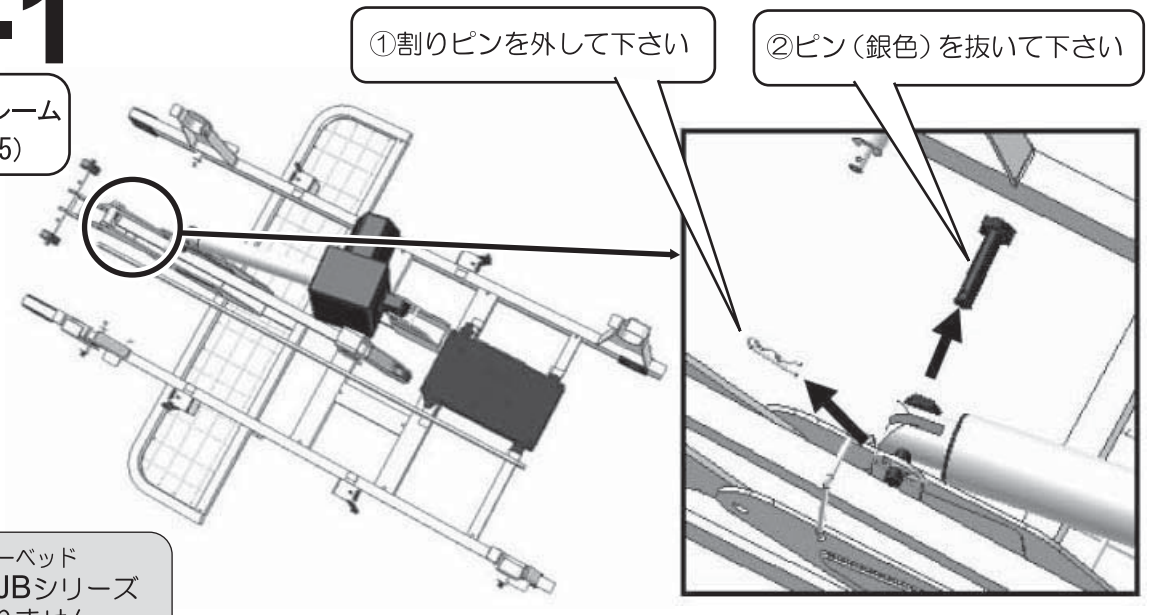
※M1RJBシリーズは同梱しております延長脚（3.5㎝<PDP-35G>、7㎝<PDP-70G>、14㎝<PDP-140G>）の組み合わせにより、組立時に29/32.5/36/39.5㎝の高さ調節が可能です。（なおオプションの延長脚の組み合わせは、不安定状態になることから最高2個までとします。）

背上げ1モーターベッドPZB-M1RJBシリーズ
は次ページ2-2へ進んでください

2-1

センターフレーム
梱包（2/5）

裏向きの状態で、モーター先端の割りピンとピン（銀色）を外して下さい。
※割りピンとピン（銀色）は『2-5』で使用しますので失くさないようご注意下さい。



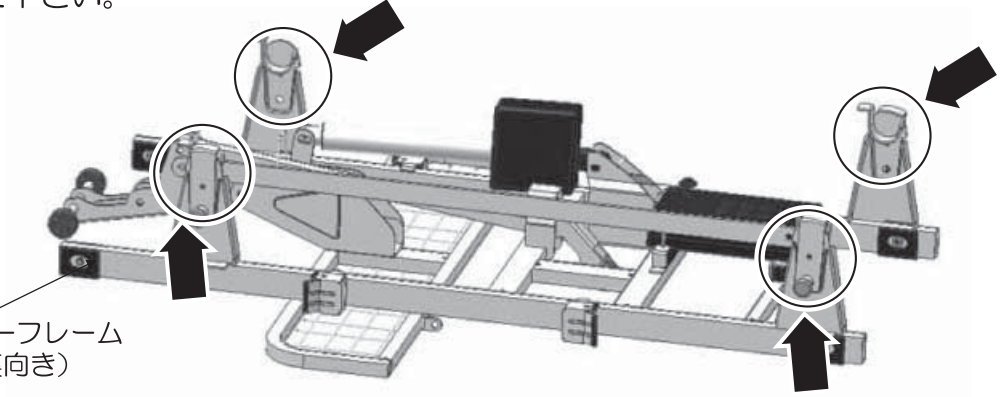
背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズ
には必要ありません

ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

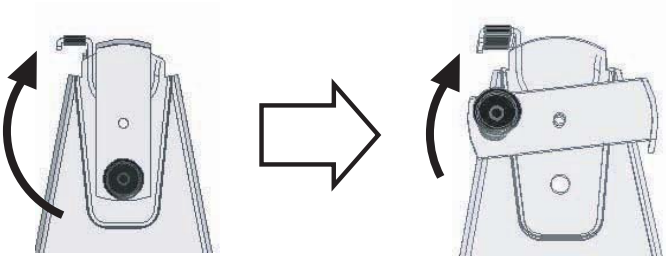
2-2

センターフレーム
梱包（2/5）

裏向きにして、矢印（4箇所）のロックピンを引きながら、プレートを回して下さい。



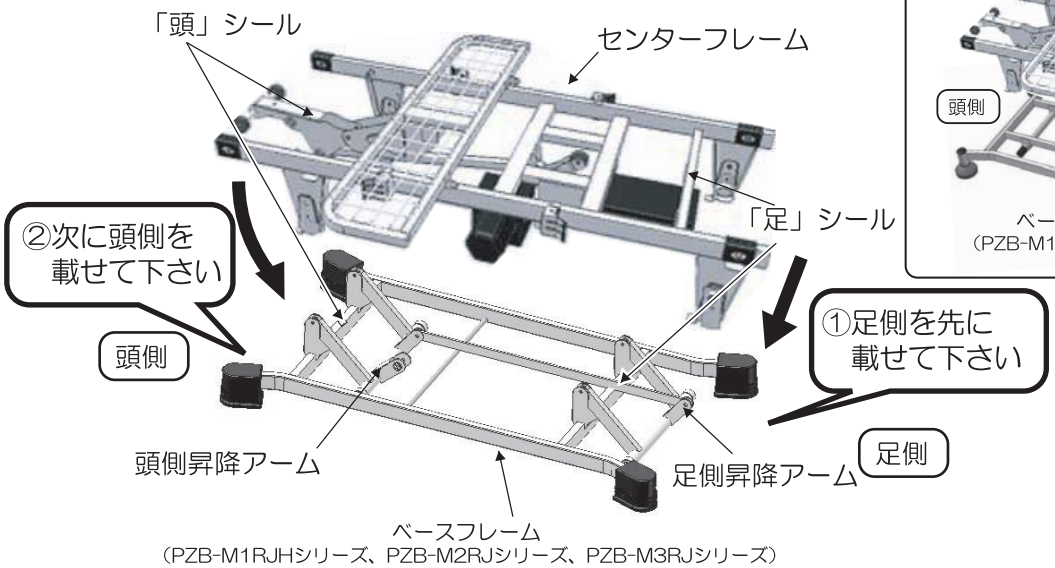
※ロックピンを手前に引きながら、
プレートを矢印の方向に
回転させて下さい。
なお、反対側は逆回転の方向に
回して下さい。



2-3

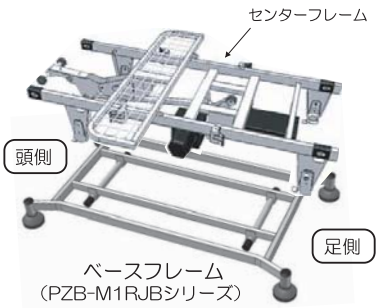
センターフレーム
梱包（2/5）

センターフレームを表向きに戻し、ベースフレームの上に組み付けます。
下図のようにセンターフレームの足側から昇降アームに先に載せ、次に頭側を昇降アームに載せて下さい。必ず頭足シールで向きを確認して下さい。



背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズ

左図を参照して、
同様にベースフレームと
センターフレームを組み
立てます。

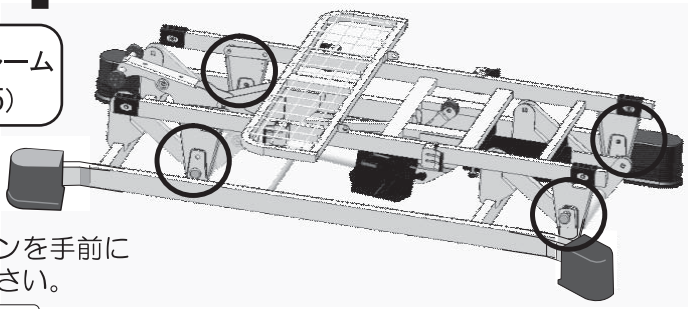


ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

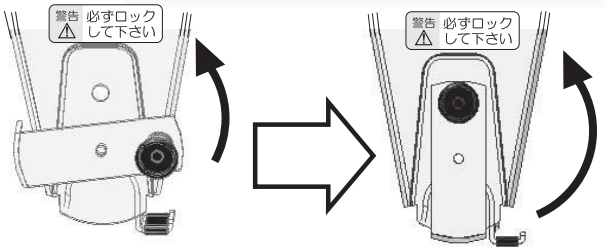
2-4

センターフレーム
梱包 (2/5)

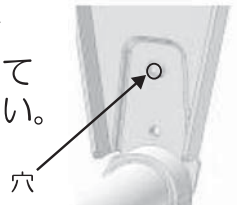
下記4箇所のプレートを回し、
ロックピンを上に回して、
裏面のピンが穴にはまっていることを
確認して下さい。



ロックピンを手前に
引いて下さい。



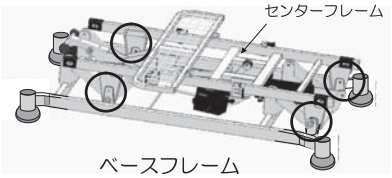
ロックピンを上に回して
裏面のピンが穴にはまって
いることを確認して下さい。



> ⚠警告 | このロックを忘れるとベッドが転倒し非常に危険です。
> 定期的にロックされているか確認して下さい。

背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズ

左図を参照して、
同様にベースフレームと
センターフレームを組み
立てます。



背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズは
次ページ3-1へ進んでください

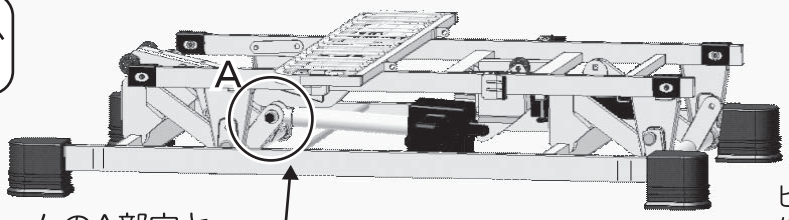
2-5

センターフレーム
梱包 (2/5)

背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズには
必要ありません

昇降モーターの取り付け

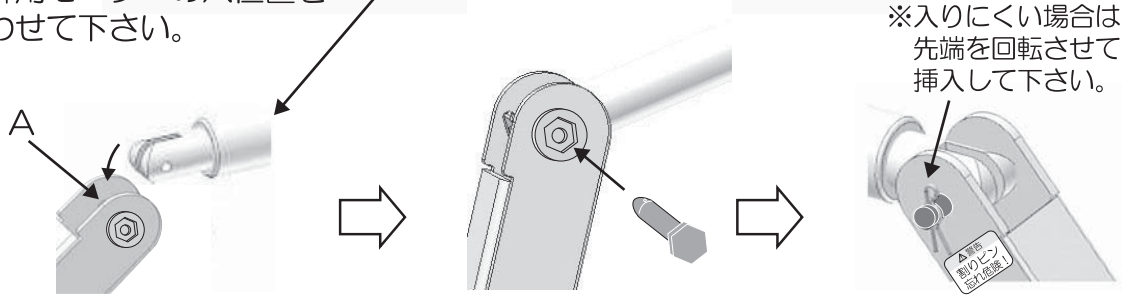
2-1で外したピンと割りピンを使用して
昇降モーターを取り付けます。



ベースフレームのA部穴と
昇降用モーターの穴位置を
合わせて下さい。

昇降用モーター

ピンの先端の穴に割
りピンを挿入して下
さい。
※入りにくい場合は
先端を回転させて
挿入して下さい。



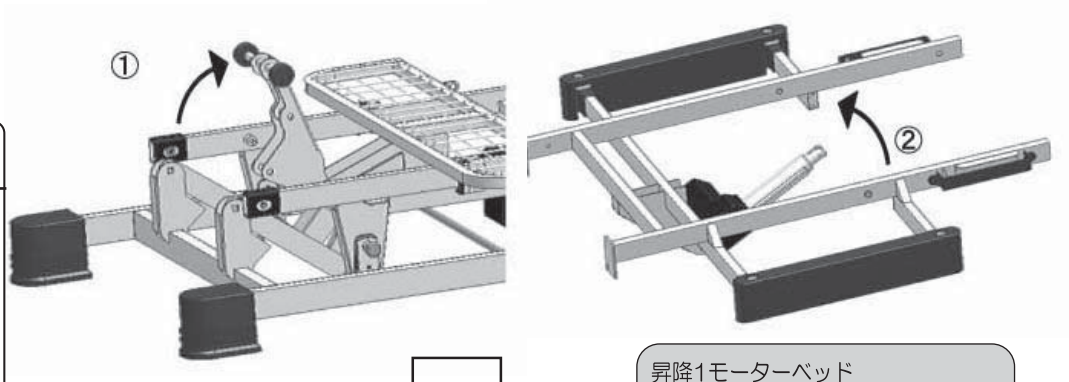
> ⚠警告 | このピンが外れるとベッドが突然落下し非常に危険です。
> 定期的に割りピンが挿入されているか確認して下さい。

ヘッドフレームを取り付けます

3-1

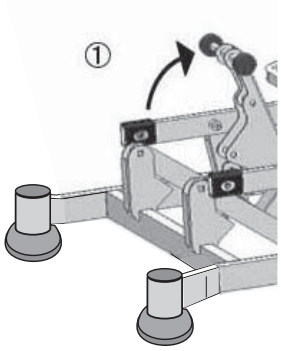
ヘッドフレーム
フットフレーム
梱包 (3/5)

ベースフレームにヘッドフレームを取り付けて下さい。
①ベースフレームのローラー部を持ち上げて下さい。
②モーターの先端を持ち上げて手で支えて下さい。
③ヘッドフレームをセンターボトムに挿入して下さい。

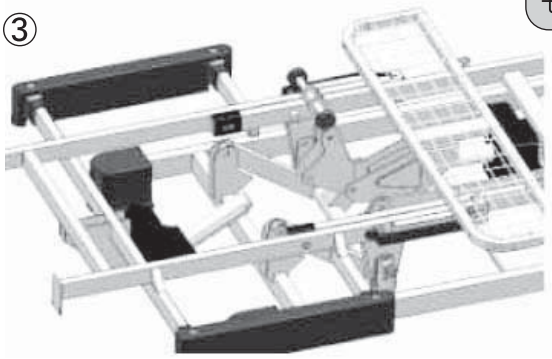


背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズ

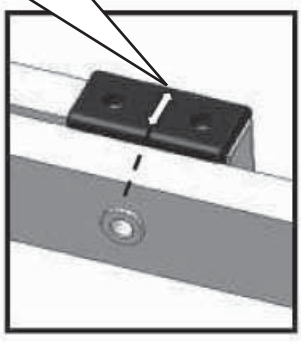
右図を参照して、同様にヘッドフレームを組み立てます。



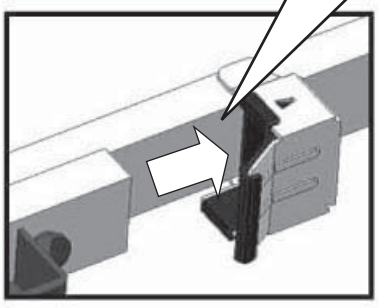
昇降1モーターベッド
PZB-M1RJHシリーズには
モーターはありません



キャップの矢印の位置を目安にして、パイプの穴を合わせて下さい



ベースフレームのキャップにヘッドフレームの先端を差し込んで下さい



⚠ 注意

ヘッドフレーム、フットフレームを持ち運びの際はホルダーの部分を持たないで下さい。割れてケガをするおそれがあります。

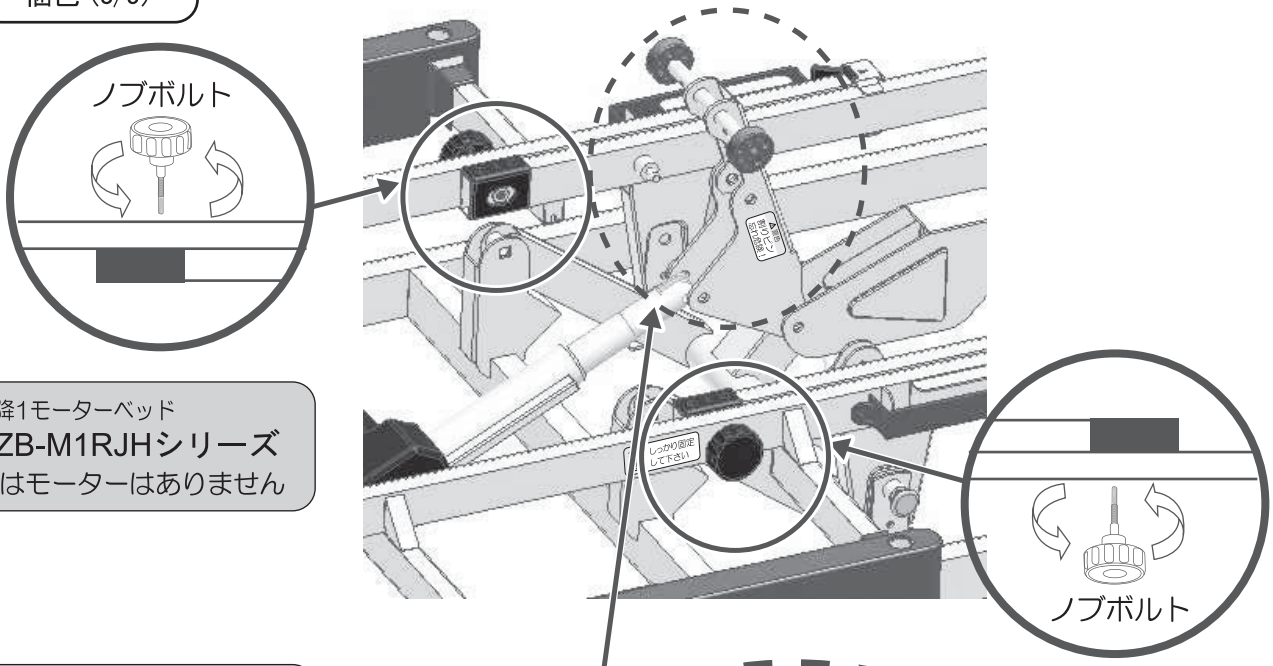
ヘッドフレームを取り付けます

3-2

ヘッドフレーム
フットフレーム
梱包（3/5）

付属のノブボルトでしっかり固定して下さい。

⚠警告	このノブボルトが外れるとベッドが突然落下し非常に危険です。定期的にノブボルトがしっかり固定されているか確認して下さい。

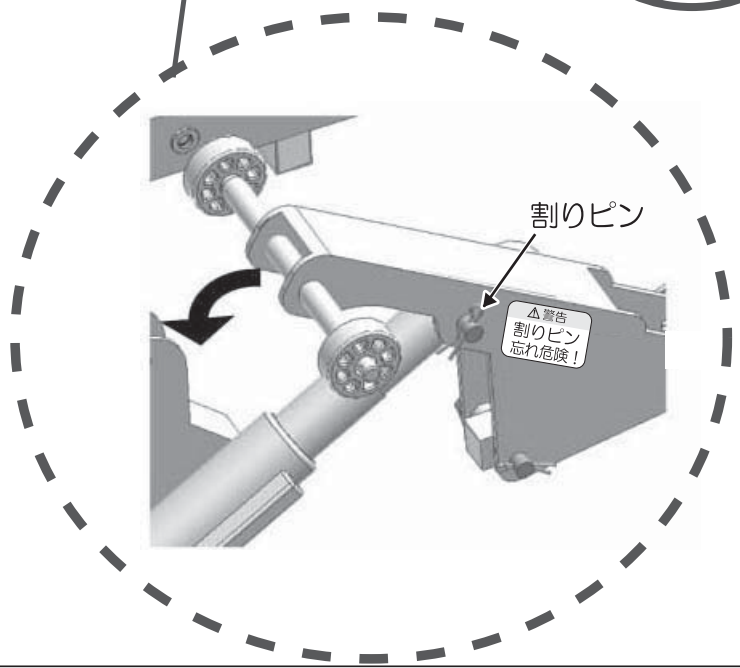


昇降1モーターベッド
PZB-M1RJHシリーズ
にはモーターはありません

昇降1モーターベッド
PZB-M1RJHシリーズは
4に進んで下さい

3-3

ヘッドフレーム
フットフレーム
梱包（3/5）



3-1で持ち上げたローラー部を下げて、2-5同様に付属のピン（銀色）をはめて下さい。

⚠警告	このピンが外れると突然背ボトムが落下し非常に危険です。定期的に割りピンが挿入されているか確認して下さい。

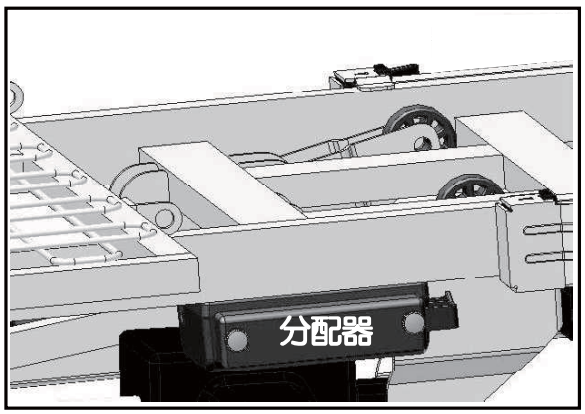
3モーターベッドにモーターコードを取り付けます

3モーターベッド
PZB-M3RJシリーズのみ

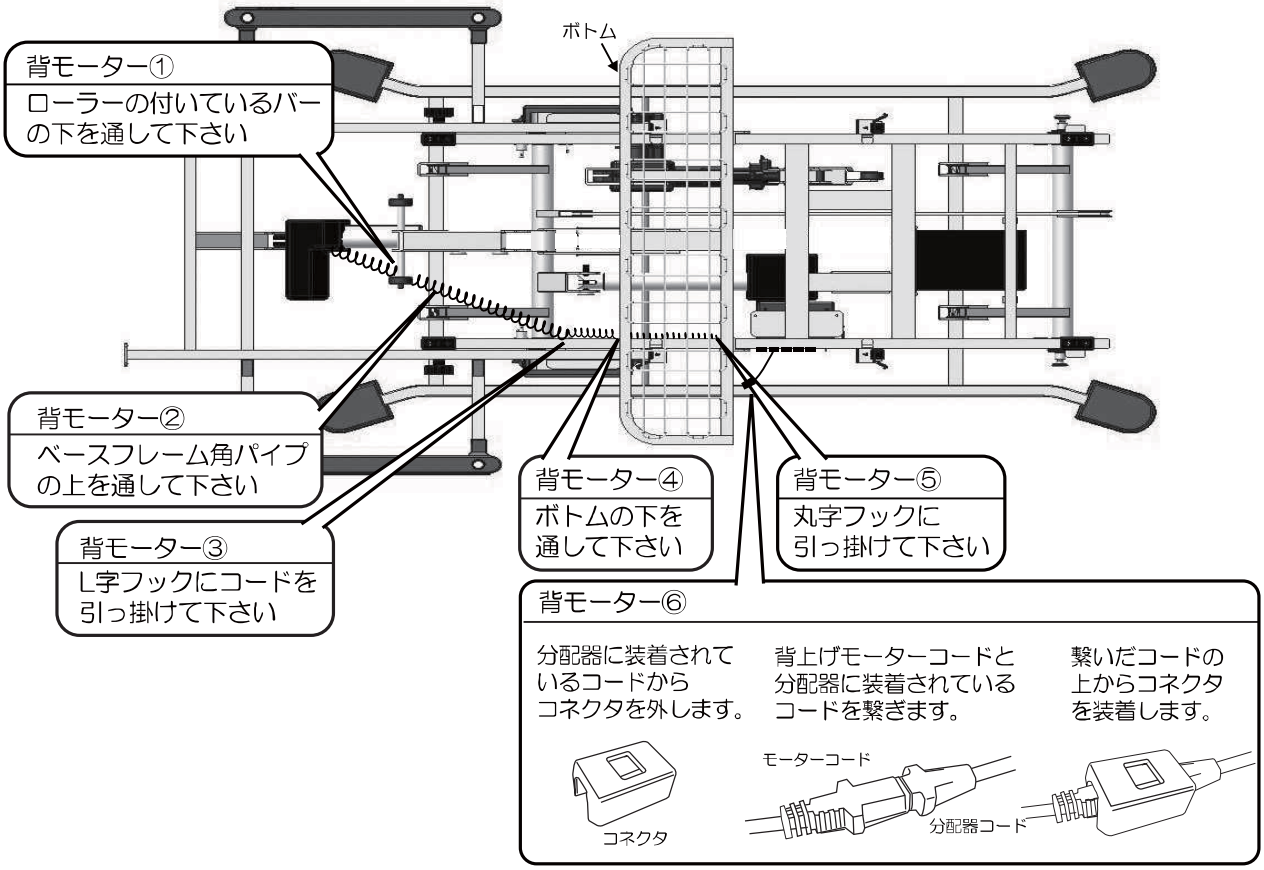
3-4

センターフレーム
梱包 (2/5)

背モーターコードの取り回しを下記の様に行なって下さい。
背モーターコードと分配器に装着されているコードを繋いで、上からコネクタを装着して下さい。



背モーターコードの取り回しを下記の様に行なって下さい。



⚠警告 正しい配線をしないと、断線し感電の危険性が発生します。
定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

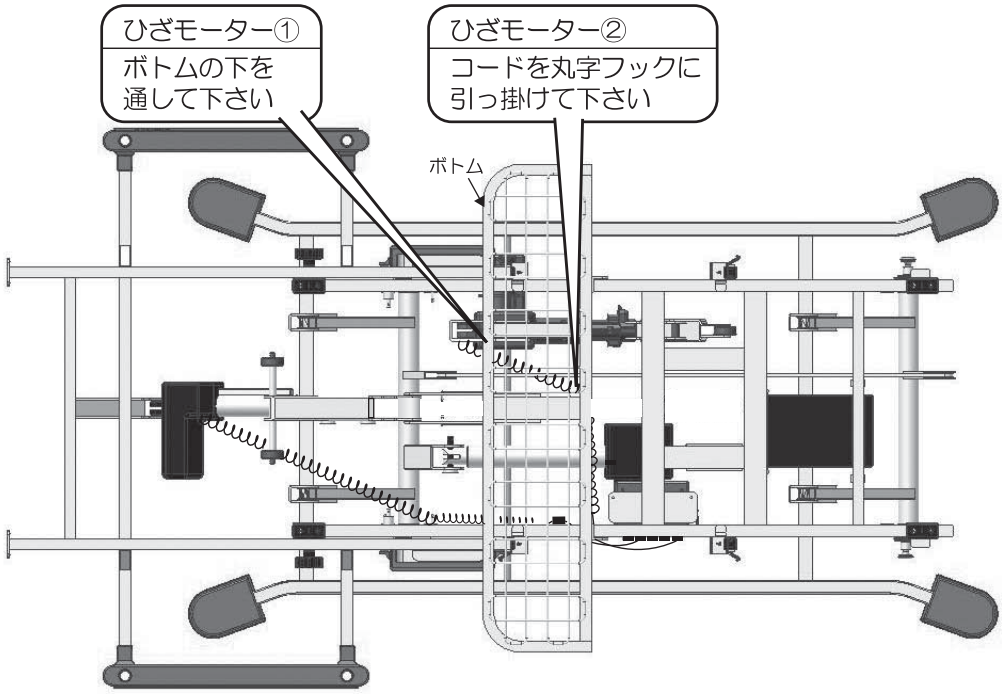
3モーターベッドにモーターコードを取り付けます

3モーターベッド
PZB-M3RJシリーズのみ

3-5

センターフレーム
梱包 (2/5)

背モーターコード以外のモーターコードは、あらかじめ分配器に装着されています。各モーターコードの取り回しが下記の様に行なわれているか、ご確認下さい。



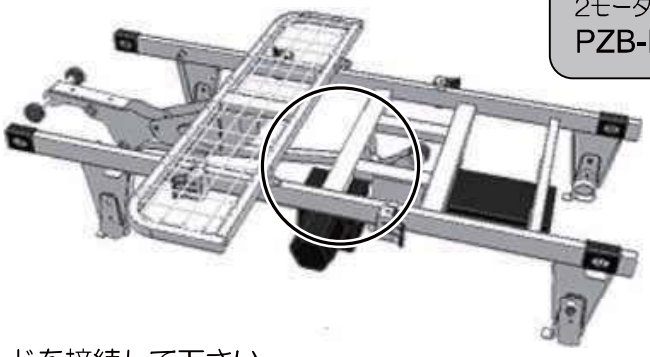
⚠警告	正しい配線をしないと、断線し感電の危険性が発生します。 定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

2モーターベッドに背モーターコードを取り付けます

3-6

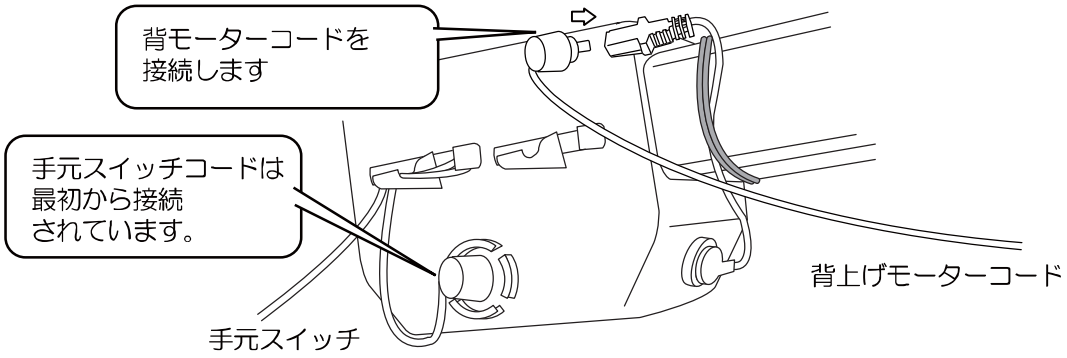
センターフレーム
梱包 (2/5)

2モーターベッド
PZB-M2RJシリーズのみ

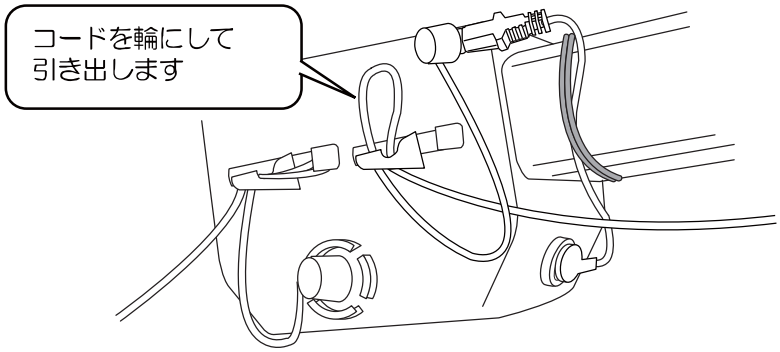


背モーターコードを接続して下さい。
モーターコードを下記の様にフックに掛けて下さい。

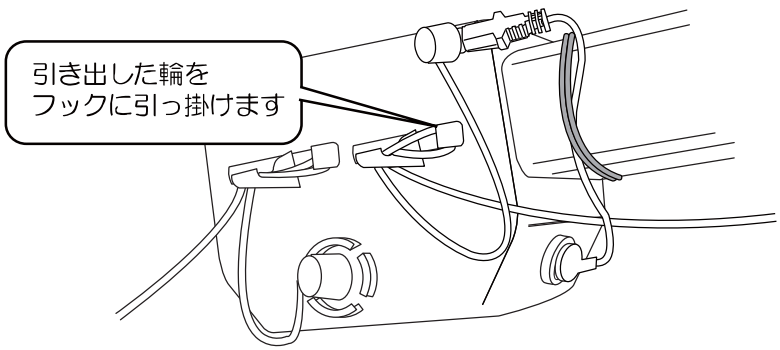
①



②



③



1モーターベッドに背用モーターコードを取り付けます

背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズのみ

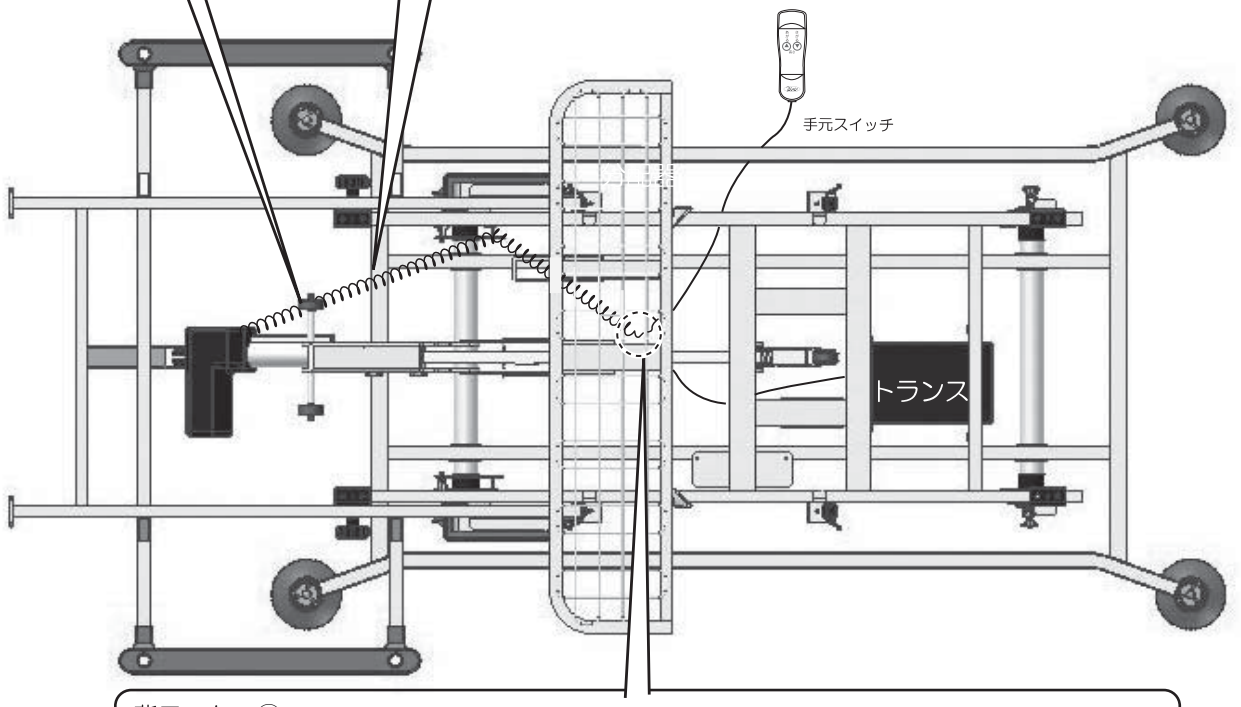
3-7

センターフレーム
梱包 (2/5)

モーターコードの取り回しを下記の様に行なって下さい。

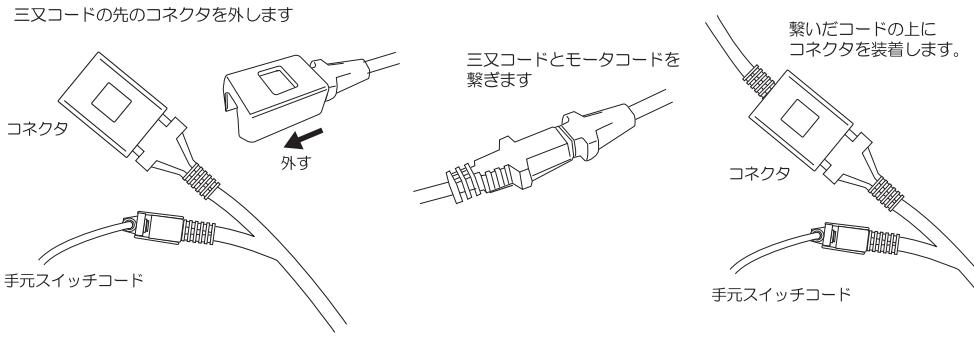
背モーター①
ローラーの付いているバーの下を通して下さい

背モーター②
ベースフレーム角パイプの上を通して下さい



背モーター③

トランスに装着されている三又コードにモーターコードを差し込みます。



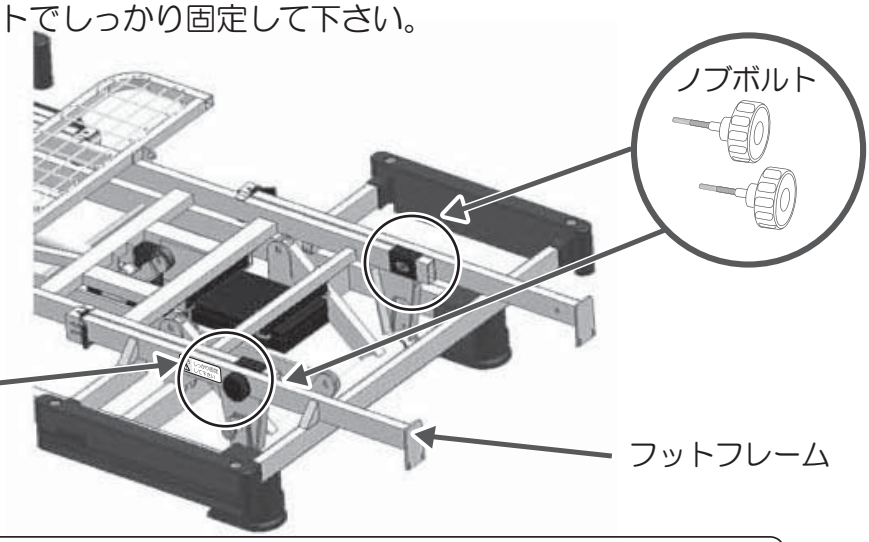
⚠警告 正しい配線をしないと、断線し感電の危険性が発生します。
定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

フットフレームを取り付けます

3-8

フットフレーム
梱包（3/5）

ヘッドフレームの取り付けと同様にしてフットフレームを取り付け
ノブボルトでしっかり固定して下さい。



⚠警告	このノブボルトが外れるとフットフレームが外れ非常に危険です。 定期的にノブボルトがしっかり固定されているか確認して下さい。

ひざ・脚ボトムを取り付けます

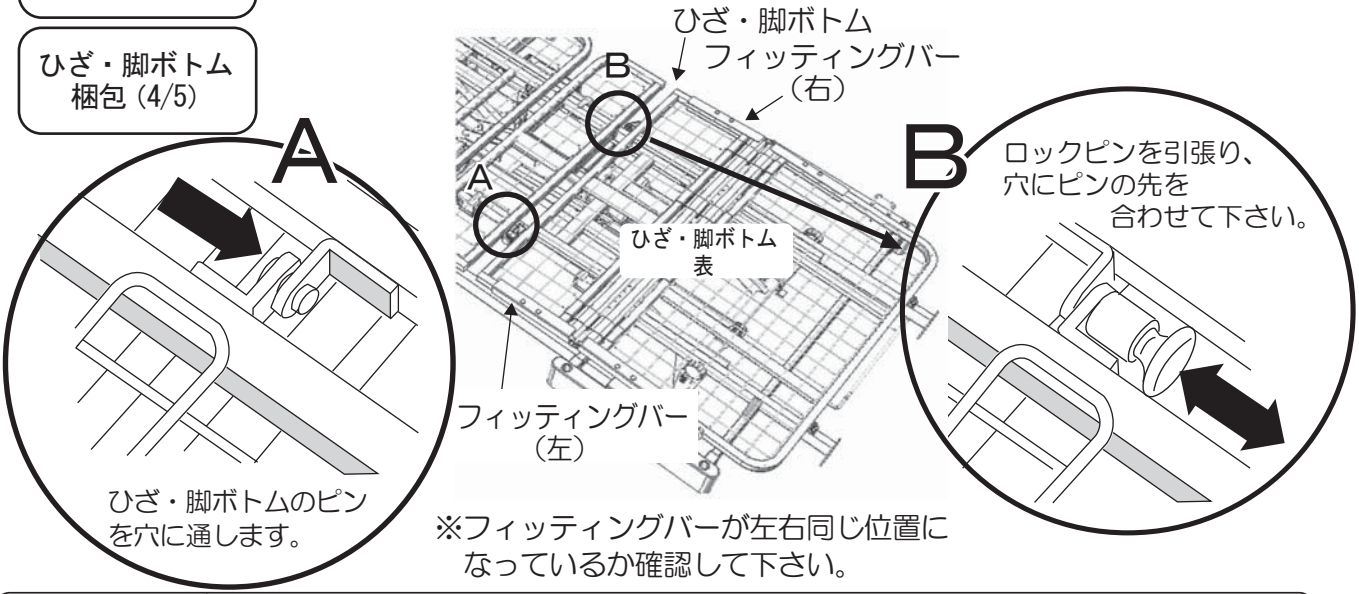
4-1

センターフレーム
梱包（2/5）

ひざ・脚ボトム
梱包（4/5）

センターフレームに、ひざ・脚ボトムを取り付けます。

※指をはさまない様ご注意下さい。
※ひざ・脚ボトムは一体化で取り外しは致しません。



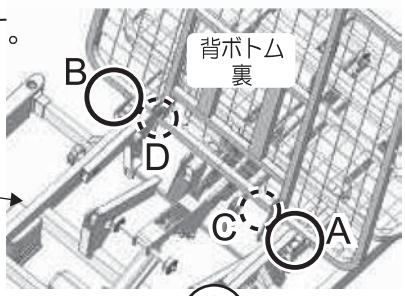
※フィッティングバーが左右同じ位置に
なっているか確認して下さい。

⚠警告	このロックピンが外れると動作中にセンターフレームとの間に危険な隙間が 生まれ非常に危険です。定期的にロックピンが入っているか確認して下さい。

背ボトムを取り付けます

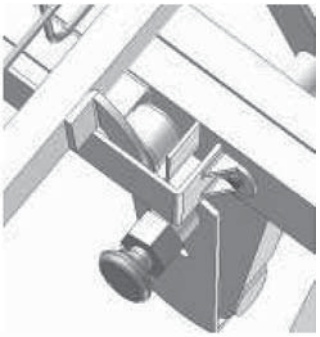
4-2

センターフレームに、
背ボトムを取り付けます。

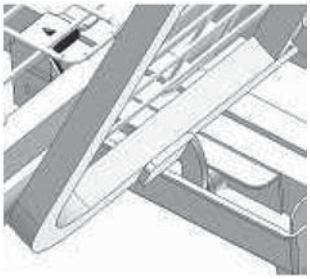


背ボトム　　梱包（4/5）
センターフレーム　梱包（2/5）

① A.B
背ボトムのローラーをセンターフレームのガイドに上から入れて下さい。



② ネットを傾けて、下図の様にローラーをガイドの内側に入れて下さい。



③ C.D
次に背ボトムのバックオフバーをピンに差込み、割りピンで止めて下さい。

⚠警告　このピンが外れると動作中に背ボトムがゆがみ、危険な隙間が生まれ非常に危険です。定期的に割りピンが挿入されているか確認して下さい。

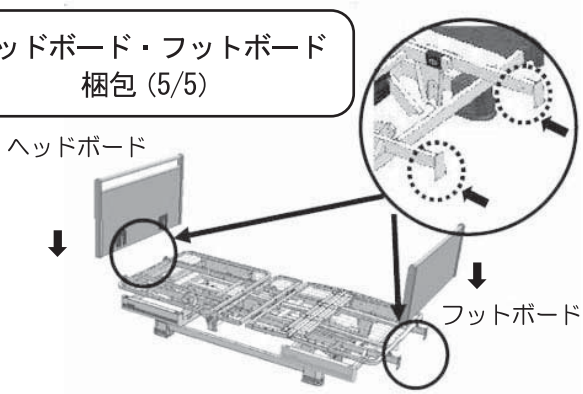
ヘッドボード・フットボードを取り付けます

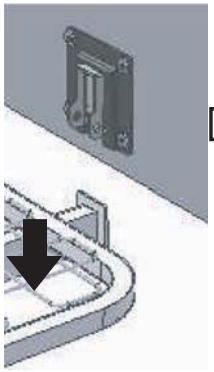
5

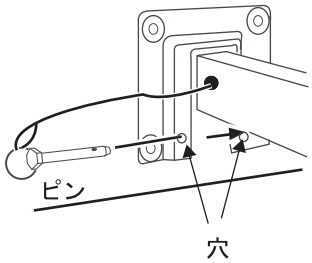
ヘッドボード・フットボードを取り付けます。

① 真上から差し込みます

ヘッドボード・フットボード
梱包（5/5）

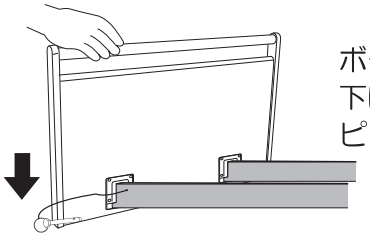






② ヘッドボード・フットボードに付いているピンをボードの金具にしっかりと差し込んで下さい。（4箇所）

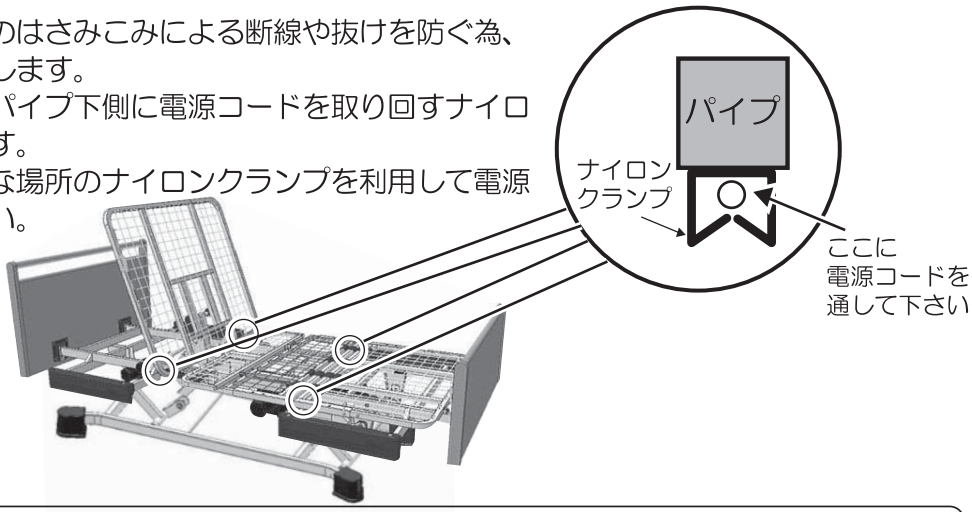
「ヘッドボード・フットボードの固定用ピンが入りづらい、入らない」という症状が出た場合、右図の様に作業を行います。
ご利用者が安全にご利用（伝い歩き等）いただくため、ヘッドボード・フットボードのガタツキを限りなく無くすための構造・設計をしております。



ボードの上部分を押し下げながら荷重を掛けてピンを入れて下さい。

コードの取り回し

ベッドへの各部位でのはさみこみによる断線や抜けを防ぐ為、電源コードを取り回します。
右図（丸印箇所）のパイプ下側に電源コードを取り回すナイロンクランプがあります。
4 箇所のうち、適当な場所のナイロンクランプを利用して電源コードを通して下さい。



⚠警告	昇降アームに電源コードが挟まれると、断線し感電の危険性が発生します。定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

マットレスストッパーの取付け方

●マットレスストッパーの取付け方
本製品はベッドに乗り降りする際のマットレスの横すれを防止する物です。
図の様に、乗り降りする側の中央部以外の部分に装着して下さい。

図1

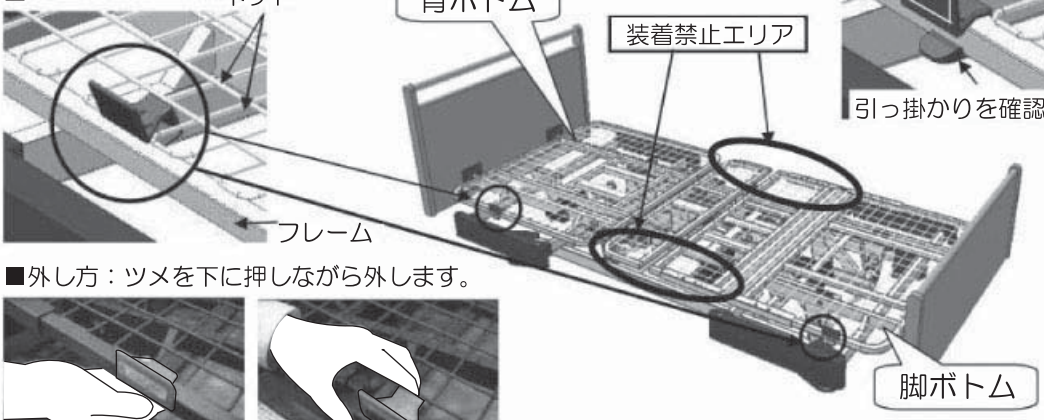
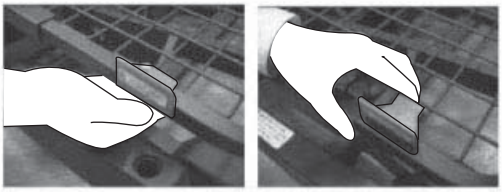


図2

■外し方：ツメを下に押しながら外します。

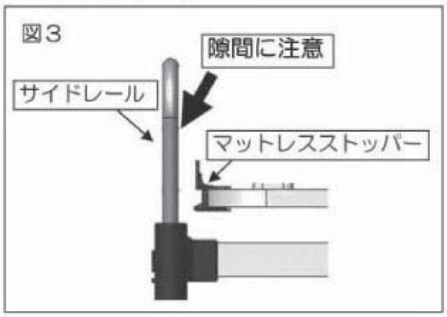


※ネットとの指はさみ注意！

①図1の様に、ネットの間にマットレスストッパーを入れて、フレームにはめます。
②図2の様に、マットレスストッパーの奥まで、確実にフレームに取付けて下さい。

⚠警告
①上記装着禁止エリアには装着しないでください。 マットレスストッパーは、乗り降りする中央部に装着すると、座った場合などお尻や大腿部を傷つける事があります。 ②サイドレールやベッド用グリップ側にも取付けないでください。 ③万一、取付ける必要がある場合、ベッドの背上げ・膝上げ動作を行う際に、図3の様に本品とレールの間の隙間が狭くなり指挟みを起こす事がありますのでご注意下さい。

図3



背ひざ連結バーの切り替え方

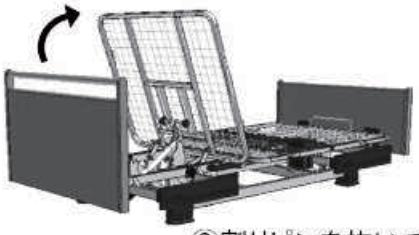
背ひざ連結バーの説明　(PZB-M1RJB,M1RJB/M、PZB-M2RJ,M2RJ/M)

背ひざ連結バー使用の目的

次の操作を行うことにより、背ひざ連動⇔背単独の切り替えを行うことができます。初期設定は背ひざ連動です 。
(※背単独の切り替えを行うと、ライジングモーションは行えません。)
(※背単独の場合、動き出すまでに時間がかかります。)

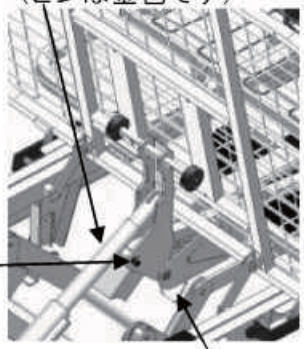
背ひざ連動→背単独への切り替え

①背ボトムを最高位まで上げて下さい。



②割りピンを抜いて下さい。
その際、指などにケガをしないようご注意下さい。

③反対側からピンをはずして下さい。
(ピンは金色です)



連結バー受け

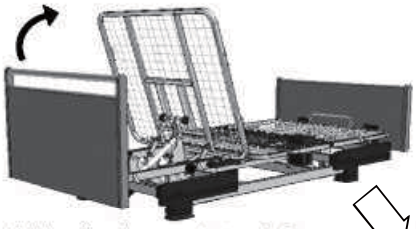
㊟
背ボトムを90度以上、動かさないで下さい。
ローラーが外れたり、ローラーガイドが変形する事があります。

※ピンを抜いて、連結バーを外して下さい。
(外した連結バーは連結バー受けで支えます。)
※取り外したピンは元の穴に挿入して、なくさないようにして下さい。

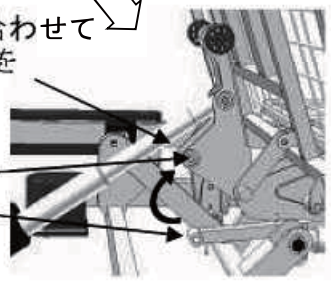
背単独→背ひざ連動への切り替え

①背ボトムを最高位まで上げて下さい。

②下図の穴(A)に挿しているピン(金色)と割りピンを抜きます。
③連結バーのレバーを引張って、図中の穴に合わせ、ピンと割りピンを挿して下さい。
この時、脚ボトムが浮きますが、異常ではありません。



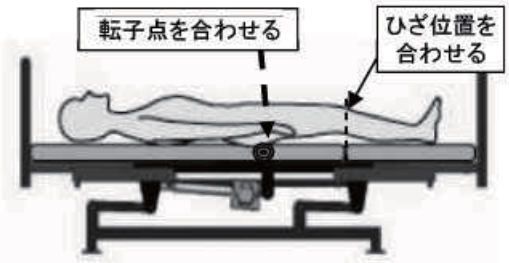
連結バーをこの穴に合わせてピン(金色)と割りピンを挿して下さい。

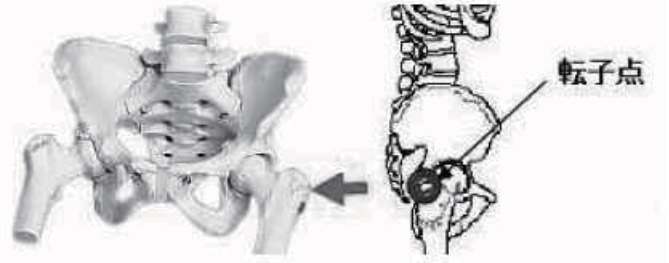


穴(A)
連結バーのレバー

正しい姿勢で御使用していただくために

ベッドの側面に◎シールが貼ってあります。これは正しい位置に寝ていただく為の印です。転子点をこの印に合わせてご利用ください。



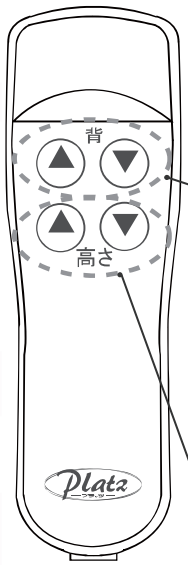


手元スイッチの使い方

使用上の注意
・ベッドの下にお子様やペット、物がないですか？
・フットボードに当たるものは、ボードから7cm以上離れていますか？
・「動かすよ」と、一声かけて使いましょう。

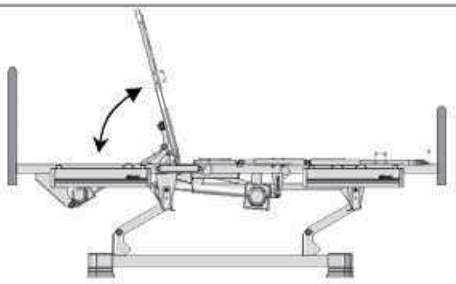
●ベッドの背ボトムの角度やベッド全体の高さを手元スイッチで無段階に調節できます。
手元スイッチのボタンを押すと作動し、ボタンを離すとその位置で停止します。
使いやすい位置まで作動してベッドをお使い下さい。

PZB-M2RJ・PZB-M2RJ/M



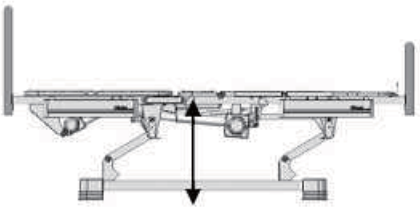
背ボタン

背ボトムの角度を約70°・ひざ角度を14°まで無段階に調節できます。
※ライジングモーションについてはP27を参照下さい。



高さボタン

床面高さを25～59cmまで無段階に調節できます。



※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります

⚠ 警告

ベッドを一定の期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は電源プラグを抜いて下さい。
誤操作による事故の恐れがあります。

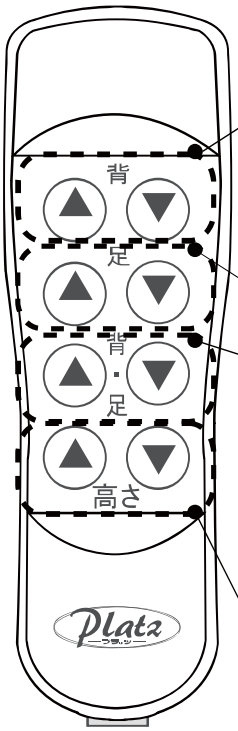
⚠ 注意

操作は必ずベッドに寝た状態で行って下さい。
ベッドに立った状態や座った状態での操作はケガをする恐れがあり危険です。

2つ以上のボタンを同時に押さないで下さい。
手元スイッチやモーターの故障の原因になります。

手元スイッチの使い方

PZB-M3RJ・PZB-M3RJ/M

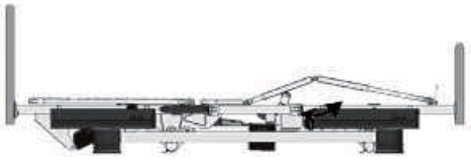


背ボタン

背ボトムの角度を約70°まで無段階に調達できます。

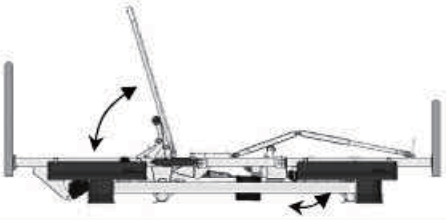
足ボタン

ひざボトムの角度を約17°まで無段階に調節できます。



背足ボタン

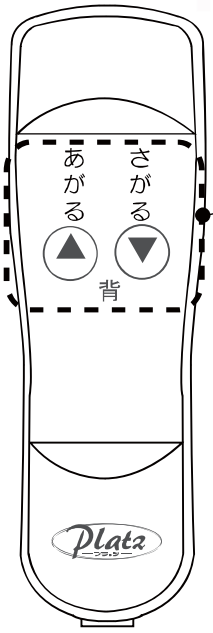
背ボトム・ひざボトムの角度を同時に調節できます。



高さボタン

床面高さを25～59㎝まで無段階に調節できます。

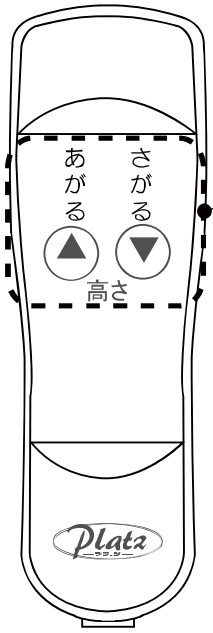
PZB-M1RJB・PZB-M1RJB/M



背・ひざ高さボタン

背上げ角度を最大70°、ひざ上げ角度最大14° まで無段階に調節できます。

PZB-M1RJH・PZB-M1RJH/M



高さボタン

床面高さを25～59㎝まで無段階に調節できます。

※仕様変更のため、イラストと仕様が異なる場合があります

操作の仕方

⚠ 警告

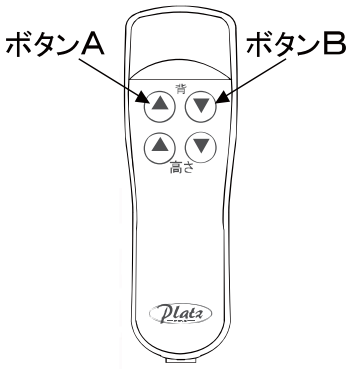
ベッドを一定期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は、電源プラグを抜いて下さい。誤操作による事故のおそれがあります。

①電源を入れる。
電源プラグをコンセントに接続して下さい。

②ベッドの背上げ、ひざ上げ
手元スイッチで操作する。
●この手元スイッチは、電動無段階自在式です。

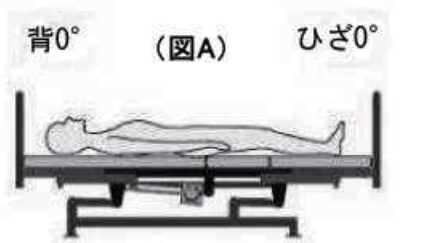
ライジングモーションの説明　(PZB-M1RJB・M1RJB/M, PZB-M2RJ・M2RJ/M)

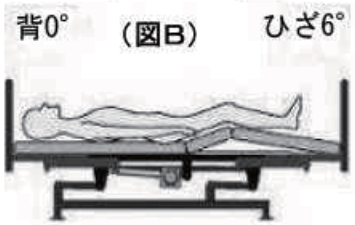
ライジングモーションの目的:どの角度においても背とひざの角度は90度以上の為、腹部圧迫を軽減します。
※特殊なリクライニング動作で背上げ時のお尻のズレを防止します。

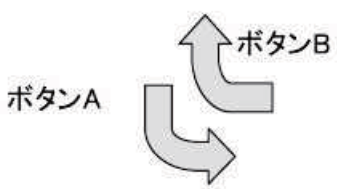


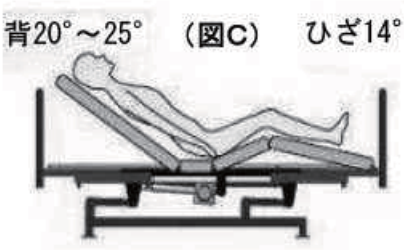
背を上げる場合
ボタンAを押し続けることにより、
①ひざが上がりはじめます。(図B)
②次に背が上がります。(図C)
③一定の角度になるまで、背とひざが上がります。(図D)
④ひざが下がります。(図E)

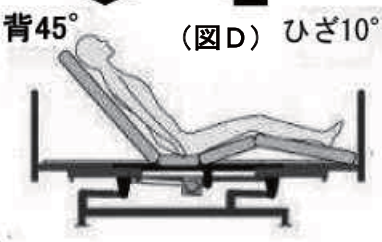
背を下げる場合
ボタンBを押し続けることにより、
①背が下がりはじめ、次にひざが上がり始めます。(図D)
②一定の角度になるまで背が下がりひざが上がります。(図C)
③背とひざが下がり、先に背が水平になります。(図B)
④ひざが水平になります。(図A)











フィッティングバーの設定

フィッティングの説明（PZB-M1RJB, M1RJB/M、PZB-M2RJ, M2RJ/M、PZB-M3RJ, M3RJ/M）

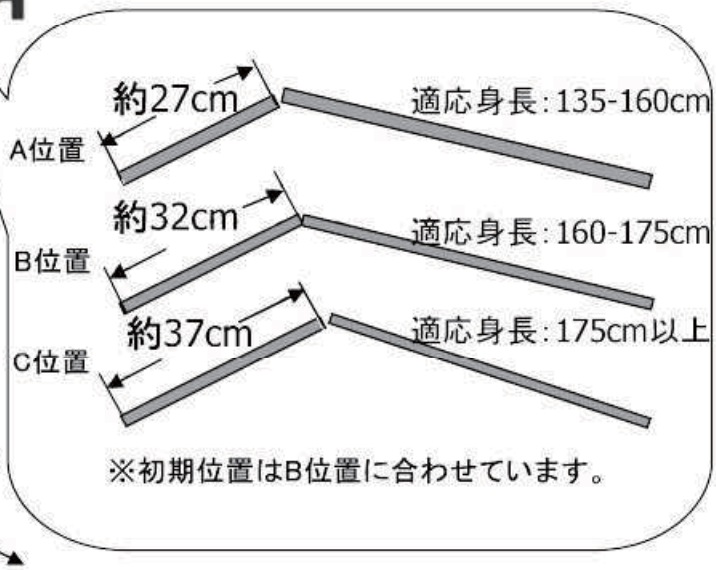
フィッティングの目的：利用者のひざの位置に合わせて、脚ボトムを3段階に調節することができます。

フィッティングの調節方法

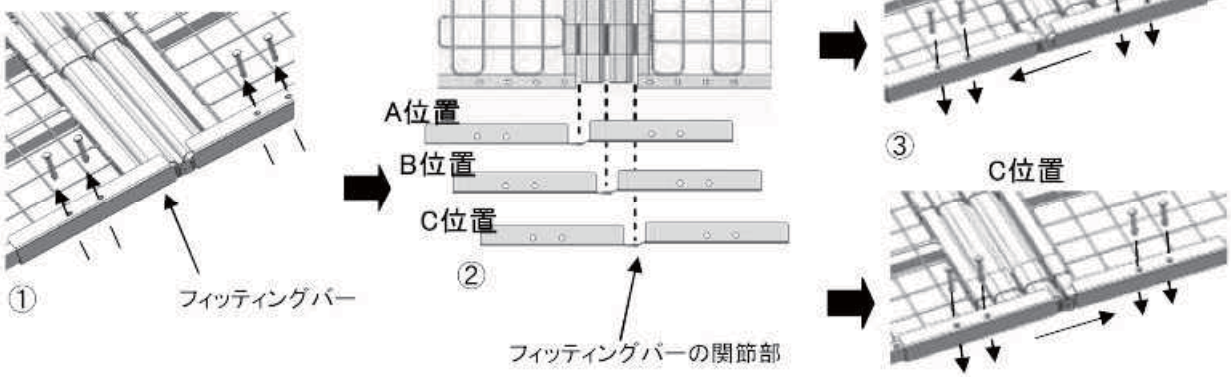
①左右のフィッティングバーのピンそれぞれ4本を上にはずします。

②A位置、B位置、C位置のいずれかを選びフィッティングバーをスライドさせて穴位置を合わせます。

③左右それぞれ4箇所にピンを挿入します。



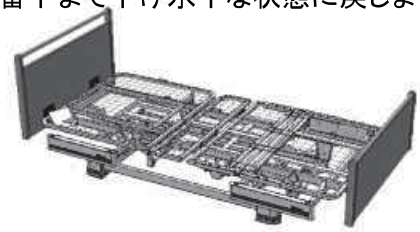
※フィッティングバーの切替え後は下図のローラーがパイプの上に確実に乗っていることを確認して下さい。



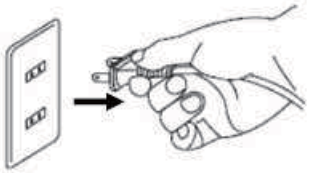
注意　機器が破損するおそれがありますので、必ず左右同じ位置に合わせて下さい。

ベッドの分解方法

1 背ボトム、ひざボトム、脚ボトム、昇降を一番下まで下げ水平な状態に戻します。



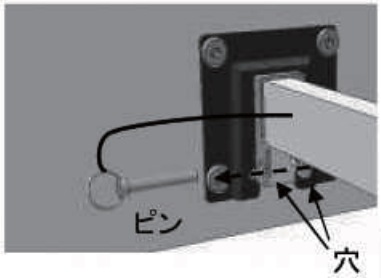
2 電源プラグを抜きます。



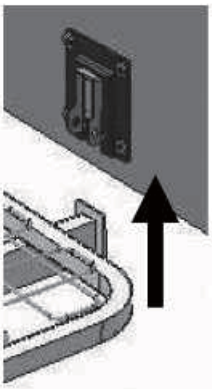
> ⚠ **注意** 必ず電源プラグの樹脂部分をお持ちになり、コンセントから抜いて下さい。コードを引張ると、断線の原因になります。

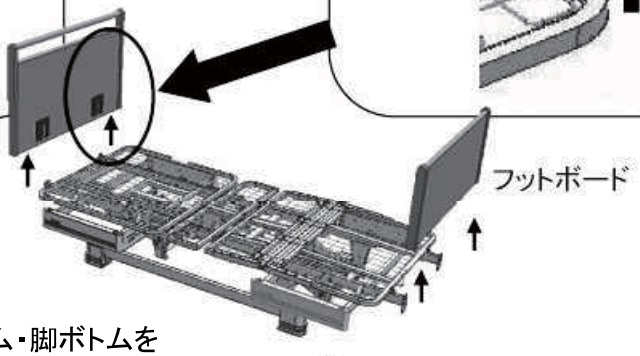
3 ヘッド・フットボードを本体から取外します。

①ボードの下にあるピンを横方向に抜きます。（4箇所）

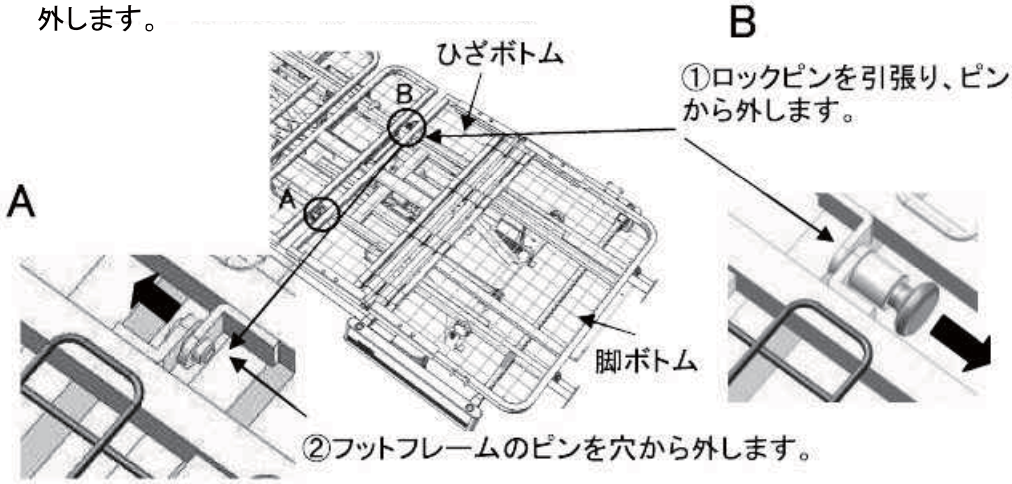


②真上に持ち上げます。





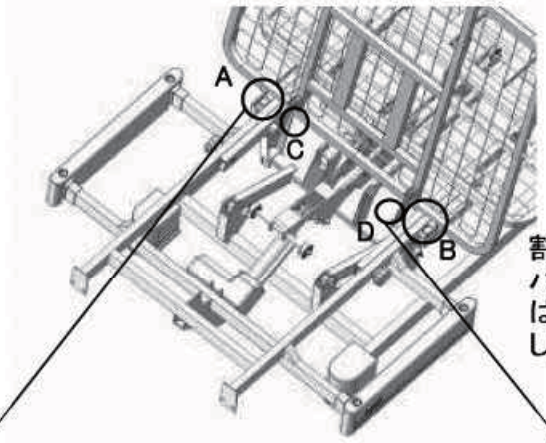
4 ベースフレームから、ひざボトム・脚ボトムを外します。



ベッドの分解方法

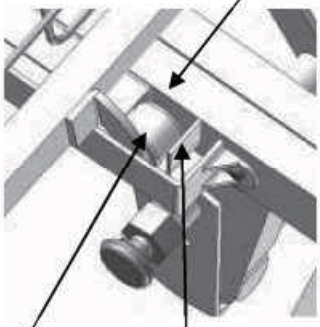
5

背ボトムを外します。



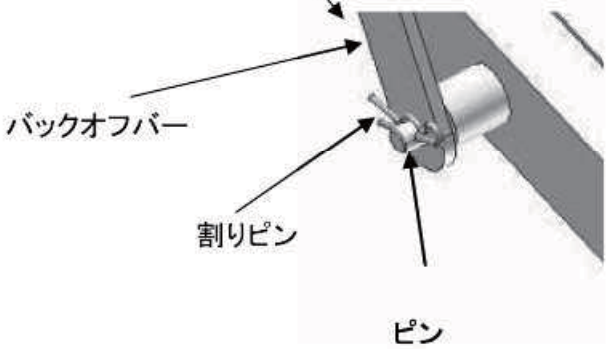
②
A、B

背ボトムのローラーをヘッドフレームのガイドから抜きます。



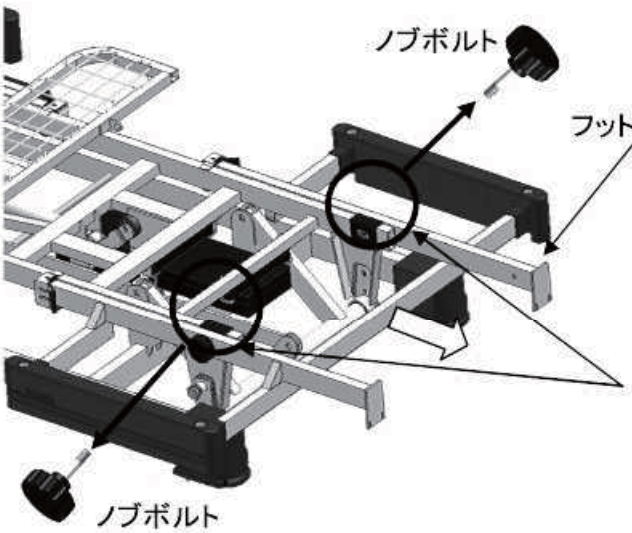
①
C、D

割りピンを抜いて、ピンからバックオフバーを外します。
はずした割りピンは元の穴に挿し込んで下さい。



6

フットフレームを取り外します。



①ノブボルトを外します。
②フットフレームを水平に引いて下さい。

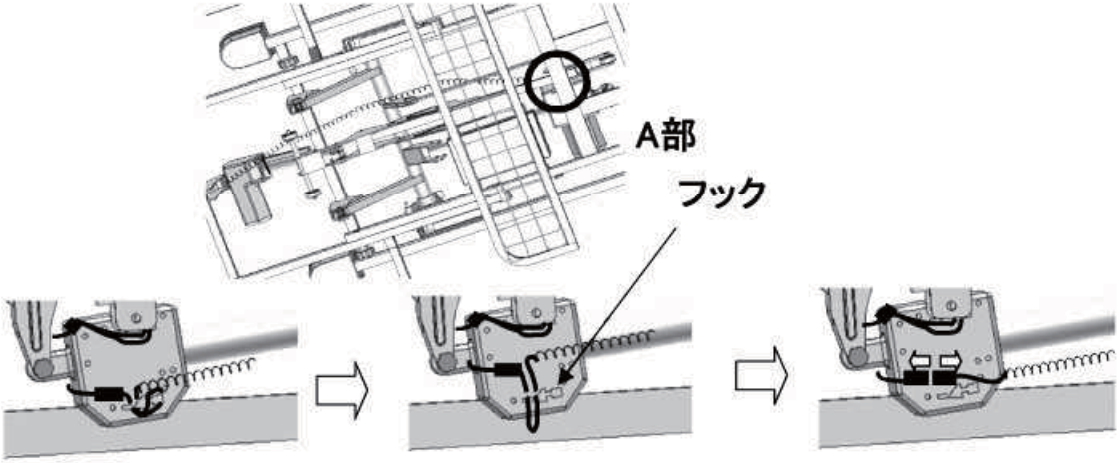
ベッドの分解方法

7

PZB-M2RJシリーズのみ

※PZB-M1RJHシリーズは**9**に進んで下さい

A部のモーター側面のコードを取り外します。



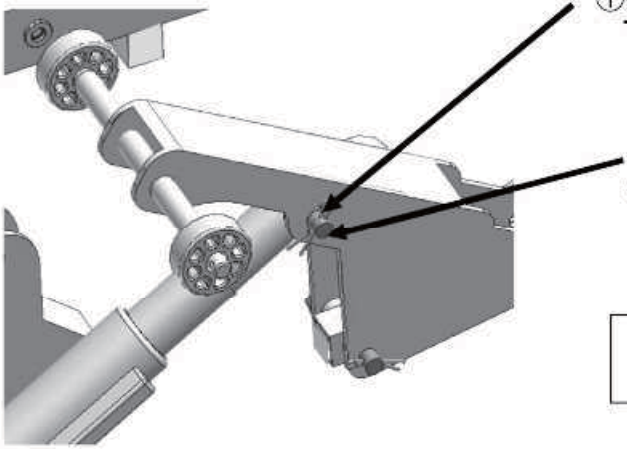
①コードをフックから外します。

②コード先端のプラグを外します。

8

PZB-M1RJBシリーズには必要ありません

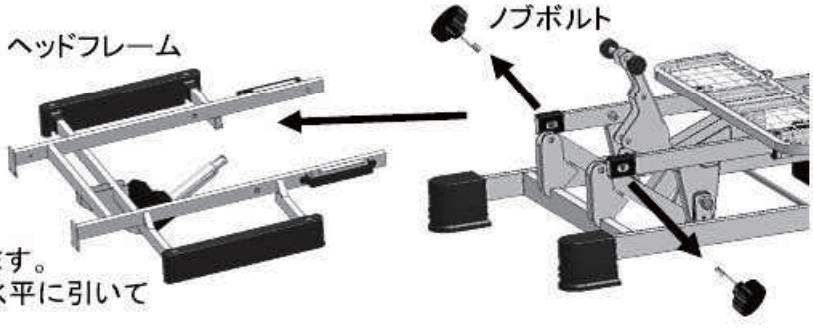
モーター先端のピン（銀色）を外します。



ピンと割りピンは
別途保管して下さい

9

ノブボルトをはずして、ヘッドフレームを水平に引いて下さい。



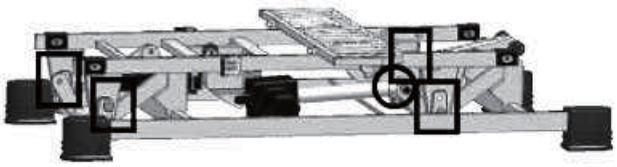
①ノブボルトを外します。
②ヘッドフレームを水平に引いて
下さい。

ベッドの分解方法

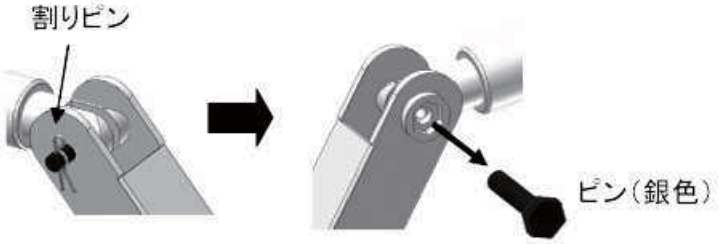
10

PZB-M1RJBシリーズには
①は必要ありません

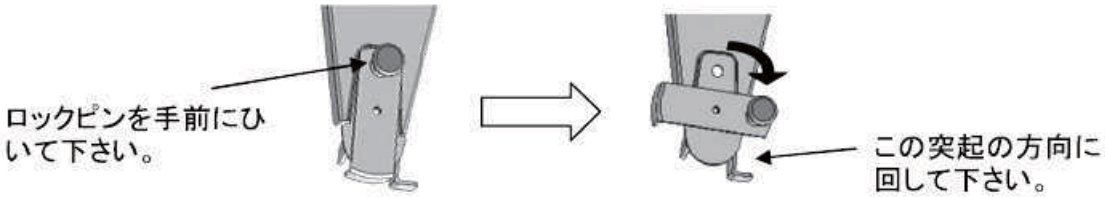
下記の要領でベースフレームを取り外して下さい。



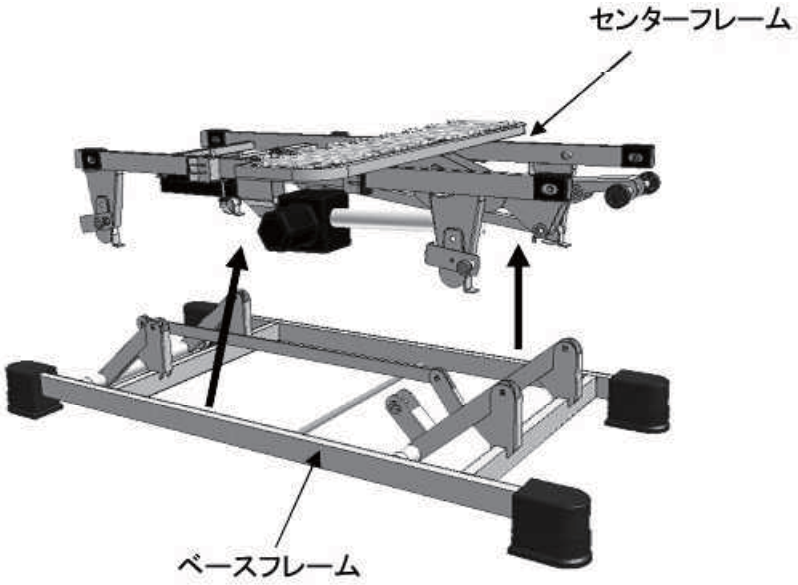
①昇降モーターの先端の割りピンを外して、ピン（銀色）を抜いて下さい。



②センターフレームのロックピンを引いて回転させて下さい。（4箇所）



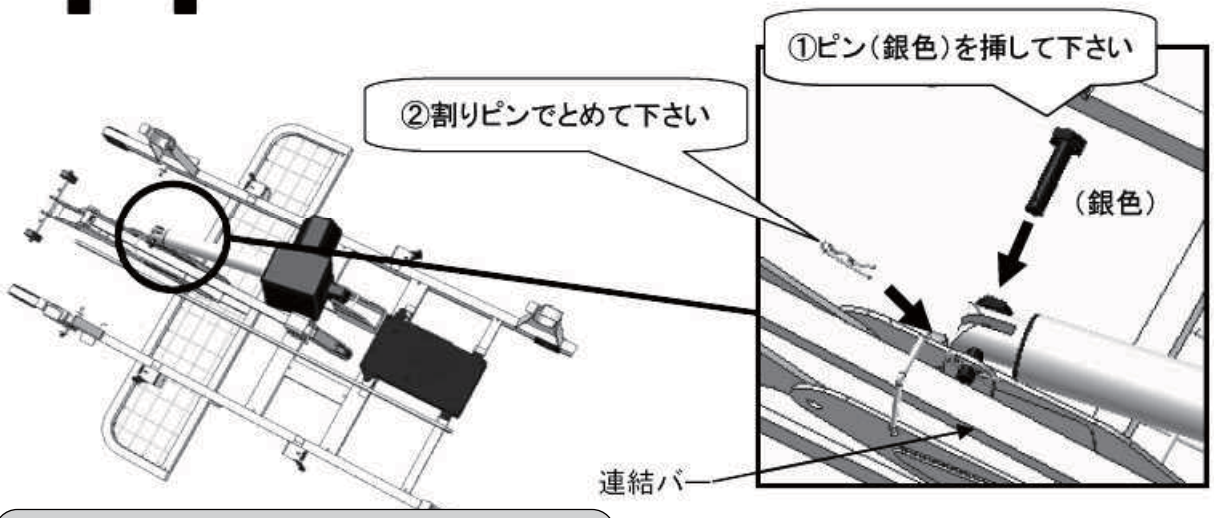
③センターフレームを取り外して下さい。



ベッドの分解方法

11

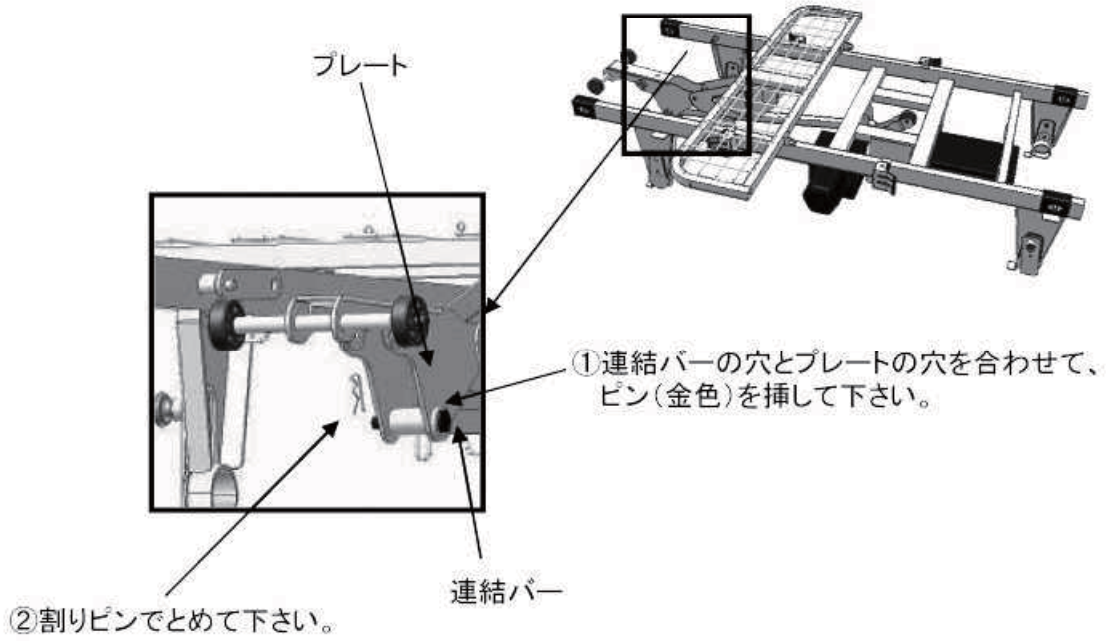
10で外したピンと割りピンを使用して、モーターと連結バーをとめて下さい。



背上げ1モーターベッド　　3モーターベッド
PZB-M1RJBシリーズ、PZB-M3RJシリーズ
には必要ありません

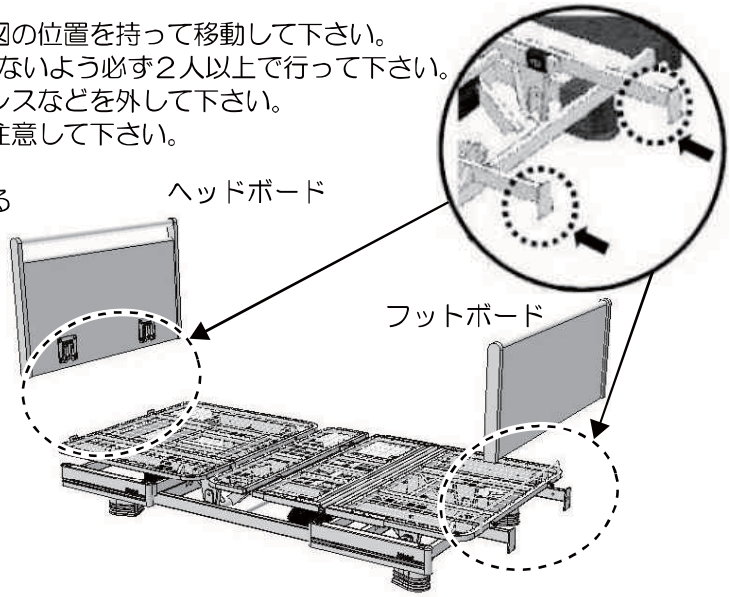
12

連結バーを外している場合は、下図の様に連結バーを穴にはめてピン（金色）でとめて下さい。



移動について

●組み立てが終わった状態で移動する場合、下図の位置を持って移動して下さい。
●ベッドは約100kgあります。腰や背中を痛めないよう必ず２人以上で行って下さい。
●ヘッドフットボード、サイドレール、マットレスなどを外して下さい。
●電源プラグを抜き、手元スイッチケーブルに注意して下さい。
●人が乗った状態で、移動を行わないで下さい。
●移動する前にロックピンが確実にはまっている事を、必ず確認して下さい。
（13 ページ 2-4 参照） ※怪我、事故の原因になる事があります。
●ヘッドボード・フットボードを外して必ず２人以上で行って下さい。（29 ページ参照）
●分解して移動する場合は、設置した販売店へご相談下さい。
＊組み立て方法を間違うと事故や怪我の原因となり、非常に危険です。

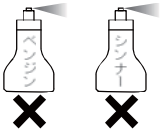


器具のお手入れ・点検

●ベッド本体について

○お手入れ

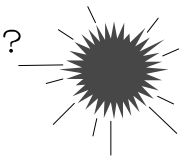
●本体のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いて下さい。
＊著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用して下さい。
＊製品に水を散らしたり、ベンジン・シンナー・オイル類・粉末洗剤などで磨いたり、殺虫剤を撒いたりしないで下さい。故障・ひび割れ・サビや感電、火災の危険があります。



●ベッドを踏み台代わりに使用しないで下さい。
●ベッドの下は非常に埃が溜まりやすくなっています。こまめにお掃除して下さい。
●電動モーター周辺の駆動部は、時々ハケやブラシで掃除して下さい。
またその時モーター、手元スイッチコードが接続されているかご確認下さい。
●コンセントの根元を樹脂で覆っており発火予防をしておりますが埃がたまらないようこまめにお掃除して下さい。

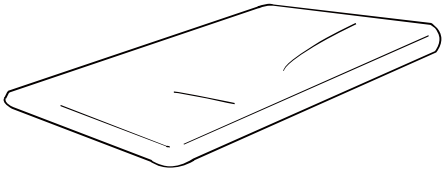
○点検

●点検前に電源プラグを抜いて下さい。
●各部分のビス・ボルト・ナットが緩んでいませんか？
●ボードやサイドパネルにガタツキがありませんか？
●電動モーター、手元スイッチコードが正常に装着されていますか？
●コード類にキズ等がありませんか？
●誤作動、異音がありませんか？



●マットレスについて

＊定期的に陰干しにして湿気を取って下さい。
その際に、カバーを外し洗濯して下さい。洗濯により多少カバーが縮む事があります。
＊カビやダニの発生は、健康に悪影響を及ぼします。
＊詳しくはマットレスの取扱説明書に従って下さい。



故障かな・・・！？

製品が動作しないときは、下記項目を確認して下さい。

症状	確認	処置
製品が 動作しない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント（AC100V） に差し込んで下さい。
	延長コードの プラグが抜けていませんか？	延長コードのプラグが抜けていないか、 延長コードに故障がないかを必ず確認 して下さい。
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご相談下さい。
	手元スイッチ、またはモーターの コードが抜けていませんか？	手元スイッチ、およびモーターの コネクタの差込口に差し込んで下さい。
	ご家庭のブレーカーが とんでいませんか？	ブレーカーを確認して下さい。

保証とアフターサービス　よくお読み下さい

■サービスを依頼される前に、取扱説明書の34ページ「故障かな…？」の項目にしたがって確認して下さい。
それでも直らない場合は、お買い上げの販売店か下記フリーコールまでご連絡下さい。

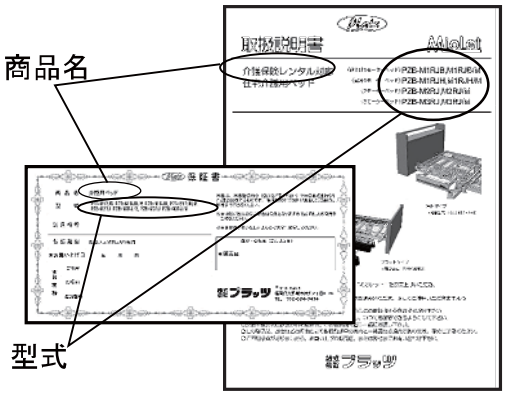
フリーコール　携帯・PHS・OK

0120-77-3433

《平日　午前9時～午後5時　土日祝祭日除く》

ご連絡いただきたい内容

・商品名及び型式
・故障内容（出来るだけ詳しく）
・ご住所/お名前/お電話番号
・お買い上げ日
・お買い上げの販売店



保証書（別添付）

お買い上げ日/販売店/お名前を必ず記入し、保証書の内容をよくお読みになって大切に保管して下さい。
（※保証書の再発行はいたしません。）

保証期間について

保障期間はお買い上げ日から１年間です。
保障期間内は、保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。
但し、保証期間内でも有料修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧下さい。

保証期間を過ぎている場合

修理及び部品交換にて対応可能であれば、有料にて修理いたします。

修理代について

修理代は、部品料、出張基本料、技術料で構成されます。
●部品料…修理で使用した部品代です。
●基本出張料…お客様のご依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です。
●技術料…製品の診断・故障箇所の修理等の作業にかかる費用です。

保証部品の保有期間

弊社では、このベッドの補修部品を本体製品の製造打ち切り後６年間の保有といたします。

プラッツネットワーク

■本　　社	〒816-0921	福岡県大野城市仲畑2丁目8-28	TEL:092-584-3434
■関東支店	〒105-0014	東京都港区芝2丁目16-9-4Ｆ	TEL:03-5427-8033
■東海支店	〒485-0082	愛知県小牧市村中足中代927	TEL:0568-42-0588
■関西支店	〒541-0046	大阪府大阪市中央区平野町4-6-4-2Ｆ	TEL:06-6233-2105
■九州支店	〒816-0921	福岡県大野城市仲畑2丁目8-28（本社内）	TEL:092-584-3433

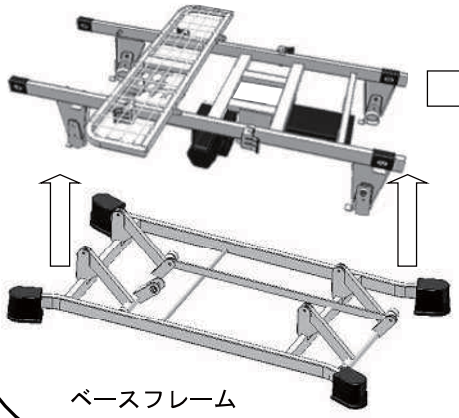
1モーターから2モーターへの変更

PZB-M1RJHから PZB-M2RJへの変更

交換が必要なもの【2/5】センターフレーム
【3/5】ヘッドフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレーム（昇降部）からセンターフレーム（PZB-M1RBHシリーズ）を取り外して下さい。

センターフレーム
（PZB-M1RJHシリーズ）

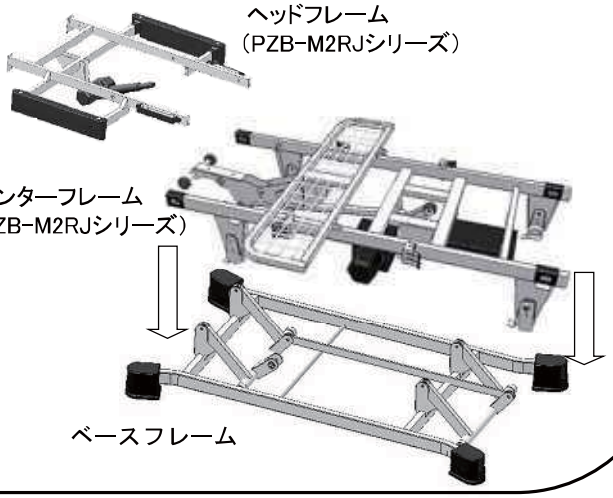


ベースフレーム

P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム（PZB-M2RJシリーズ）とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム（PZB-M2RJシリーズ）にヘッド・フットフレームを取り付けます。

ヘッドフレーム
（PZB-M2RJシリーズ）

センターフレーム
（PZB-M2RJシリーズ）



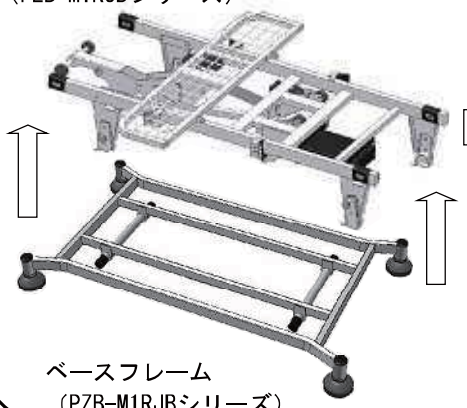
ベースフレーム

PZB-M1RJBから PZB-M2RJへの変更

交換が必要なもの【1/5】ベースフレーム
【2/5】センターフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレームとセンターフレーム（PZB-M1RJBシリーズ）を取り外して下さい。

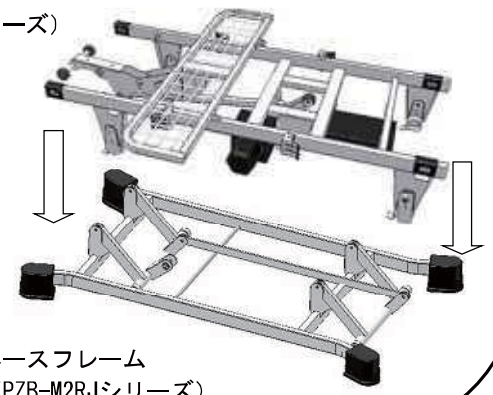
センターフレーム
（PZB-M1RJBシリーズ）



ベースフレーム
（PZB-M1RJBシリーズ）

P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム（PZB-M2RJシリーズ）とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム（PZB-M2RJシリーズ）にヘッド・フットフレームを取り付けます。

ヘッドフレーム
（PZB-M2RJシリーズ）



ベースフレーム
（PZB-M2RJシリーズ）

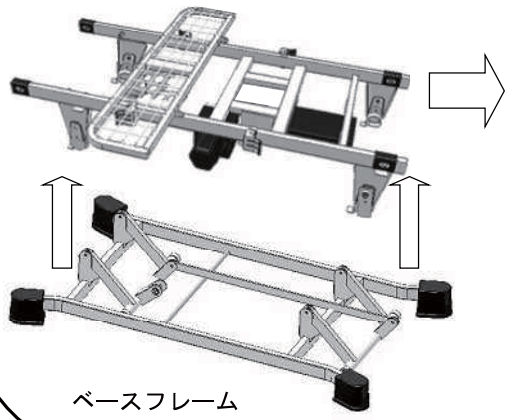
1モーターから3モーターへの変更

PZB-M1RJHから PZB-M3RJへの変更

交換が必要なもの【2/5】センターフレーム
【3/5】ヘッドフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレーム（昇降部）からセンターフレーム（PZB-M1RJHシリーズ）を取り外して下さい。

センターフレーム
（PZB-M1RJHシリーズ）

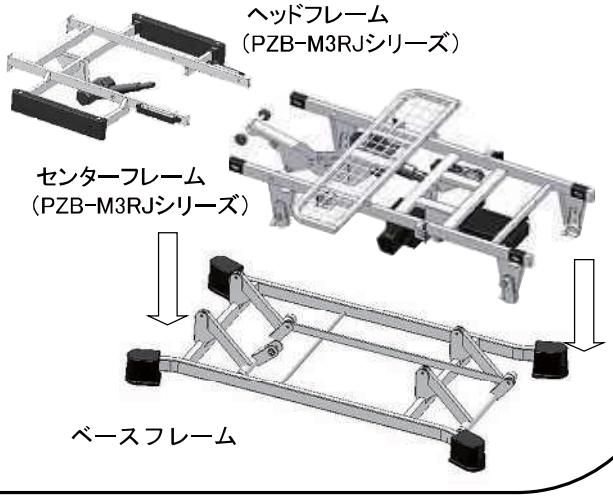


ベースフレーム

P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム（PZB-M3RJシリーズ）とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットクレームの取り付け」を参照してセンターフレーム（PZB-M3RJシリーズ）にヘッド・フットフレームを取り付けます。

ヘッドフレーム
（PZB-M3RJシリーズ）

センターフレーム
（PZB-M3RJシリーズ）



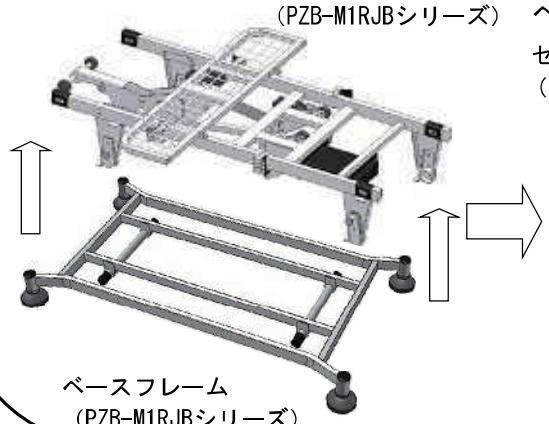
ベースフレーム

PZB-M1RJBから PZB-M3RJへの変更

交換が必要なもの【1/5】ベースフレーム
【2/5】センターフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレームとセンターフレーム（PZB-M1RJBシリーズ）を取り外して下さい。

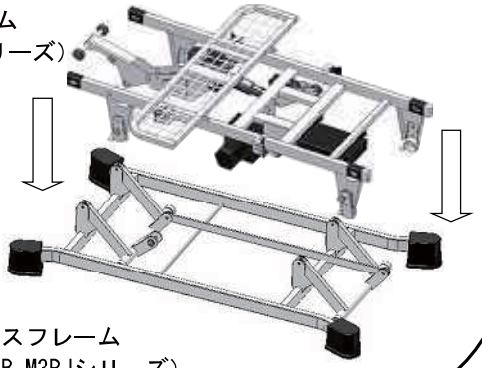
センターフレーム
（PZB-M1RJBシリーズ）



ベースフレーム
（PZB-M1RJBシリーズ）

P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム（PZB-M3RJシリーズ）とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム（PZB-M3RJシリーズ）にヘッド・フットフレームを取り付けます。

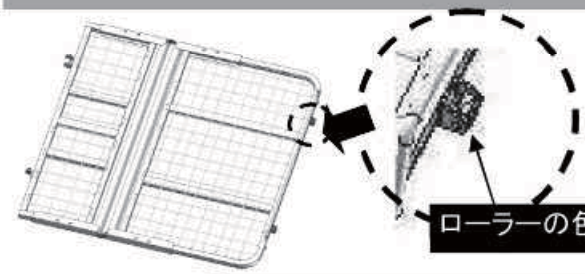
センターフレーム
（PZB-M3RJシリーズ）



ベースフレーム
（PZB-M3RJシリーズ）

共通	P39「２モーターから３モーターへの変更」を参照して、センターフレームに取り付けているトランスにベースフレームのモーターコードを接続します。

2モーターから3モーターへの変更



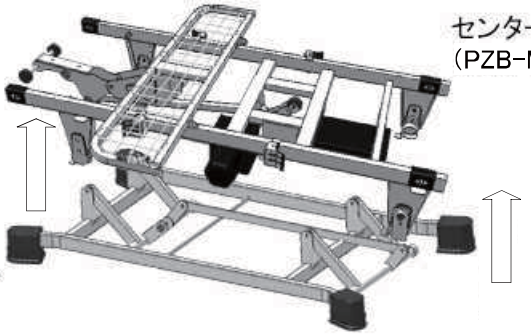
〇2モーターから3モーターへの変更について〇

脚ボトムに付いているローラーの色をご確認ください。
ローラーの色が「黒」の場合、新たに「白」いローラーを付属した脚ボトム（脚ボトムのみ）の購入が必要です。

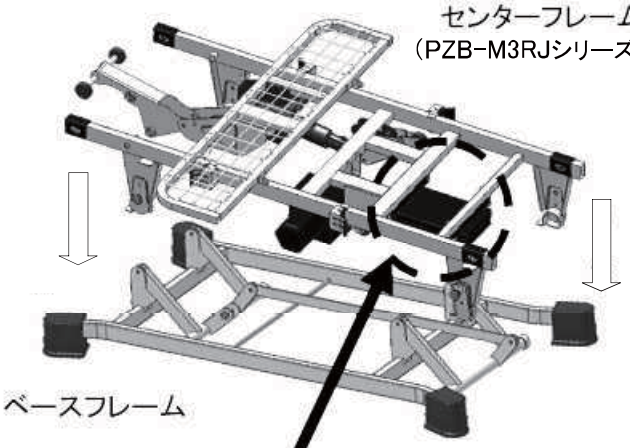
PZB-M2RJから PZB-M3RJへの変更

交換が必要なもの 【2/5】センターフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレーム（昇降部）からセンターフレーム（PZB-M2RJシリーズ）を取り外して下さい。



P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照して センターフレーム（PZB-M3RJシリーズ）とベースフレームを組み立てます。

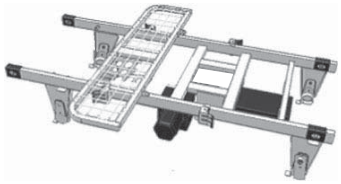
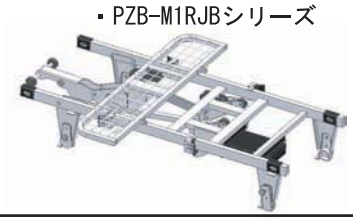
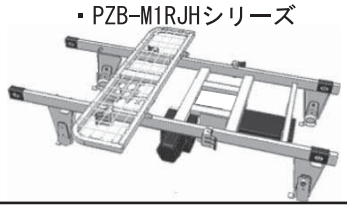
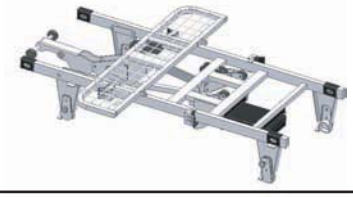


配線については
P16をご参照下さい。

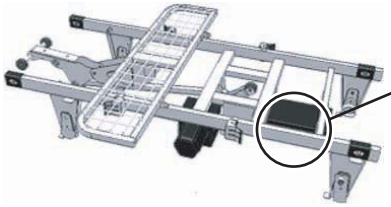
P14・P15を参照してヘッドフレームを組み立てます。ヘッドフレームのモーターコードを図の位置に差し込みます。

コードの根元を持ち、**分配器**側面の脚モーターコードの隣差込口にさしこみます。

3モーターから2モーター・1モーターへの変更
2モーターから1モーターへの変更

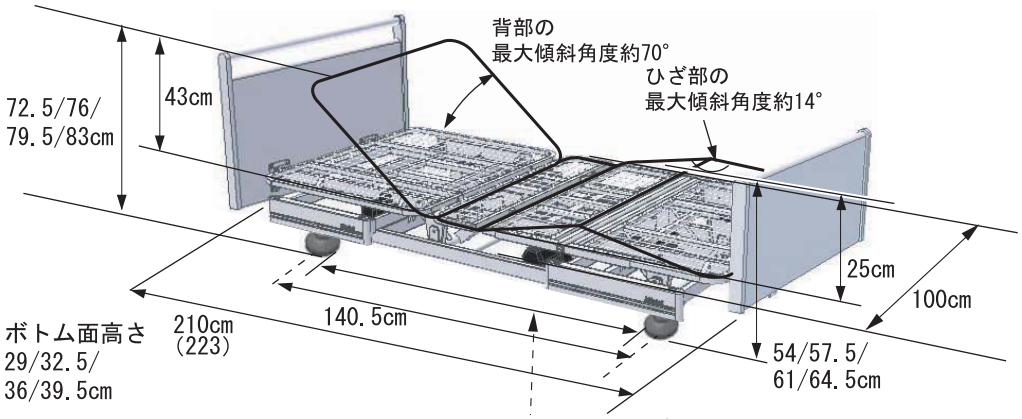
変更前	変更後	交換パーツ
PZB-M3RJ （３モーター）	PZB-M2RJ （2モーター）	【2/5】センターフレーム ・PZB-M2RJシリーズ
PZB-M3RJ （３モーター）	PZB-M1RJH （昇降1モーター）	【2/5】センターフレーム ・PZB-M1RJHシリーズ  【3/5】ヘッドフレーム ・PZB-M1RJHシリーズ
PZB-M3RJ （３モーター）	PZB-M1RJB （背上げ1モーター）	【1/5】ベースフレーム ・PZB-M1RJBシリーズ 【2/5】センターフレーム ・PZB-M1RJBシリーズ 
PZB-M2RJ （２モーター）	PZB-M1RJH （昇降1モーター）	【2/5】センターフレーム ・PZB-M1RJHシリーズ  【3/5】センターフレーム ・PZB-M1RJHシリーズ
PZB-M2RJ （２モーター）	PZB-M1RJB （背上げ1モーター）	【1/5】ベースフレーム ・PZB-M1RJBシリーズ 【2/5】センターフレーム ・PZB-M1RJBシリーズ 

交換方法はP36～P38を参照にして下さい。

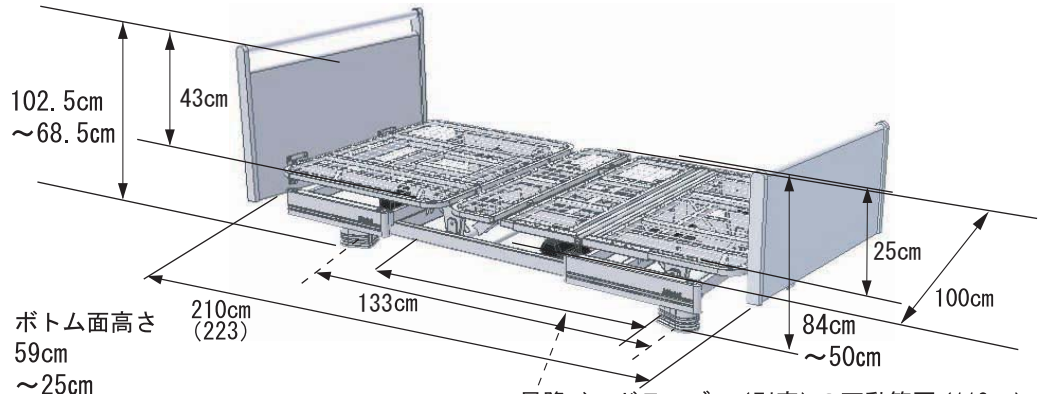


この部分の内側に商品名が
記載されたシールが
貼ってありますので
ご確認下さい

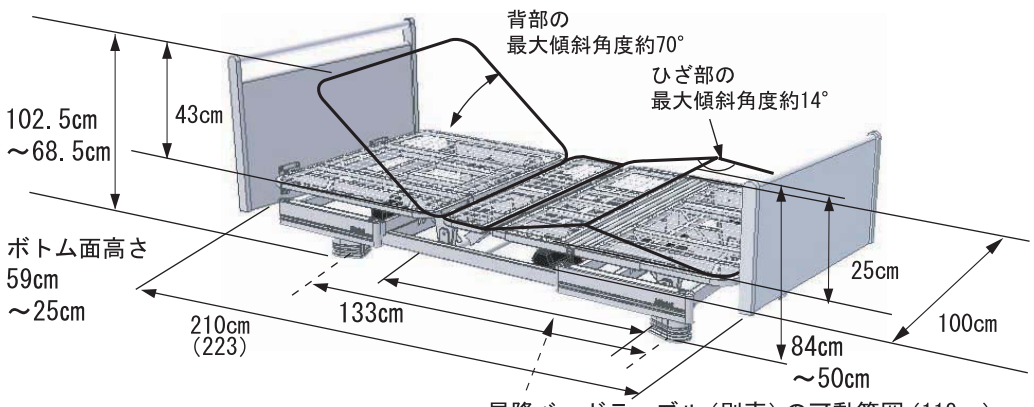
商品の仕様

型　式	PZB-M1RJB / PZB-M1RJB/M
商品名	在宅用背上げ１モーターベッド
ベッド寸法	 ※（　）はPZB-M1RJB/M 昇降ベッドテーブル（別売）の可動範囲（130cm） キャスター装着時の脚座間の長さ（140.5cm）
商品質量	(1/5)：ベースフレーム　15.0kg　商品質量合計83.4kg (2/5)：センターフレーム　20.0kg　(84.8kg) (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム　19.0kg (4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム　18.8kg (5/5)：ヘッドボード、フットボード　10.6kg (5/5)：宮ヘッドボード、フットボード　12.0kg（PZB-M1RJB/M）
梱包サイズ 梱包重量	(1/5)：1600×950×200　19.4kg (2/5)：1335×945×270　28.0kg (3/5)：1065×995×240　24.5kg (4/5)：1125×960×120　22.5kg (5/5)：1000×605×160　13.6kg (5/5)：1050×640×260　15.2kg（PZB-M1RJB/M）
材　質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木部：ＭＤＦプリント化粧合板、PUコーティング
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独） 背上げ角度（0°～約70°）、ひざ上げ角度（0°～約14°）
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は４ブロックに分けてあります
定格電圧	ＡＣ100V、50/60Ｈｚ
定格消費電力	70W
最大使用者体重	120ｋｇ/最大使用荷重：1700N
原産国	本体：ベトナム

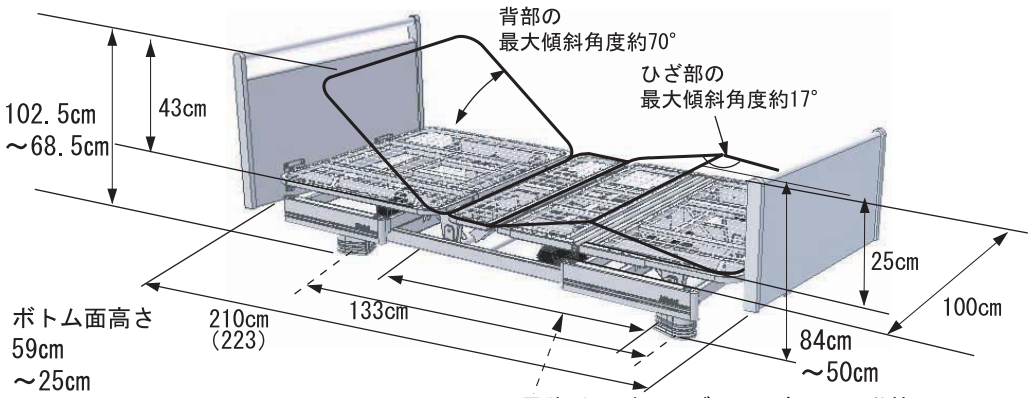
商品の仕様

型　式	PZB-M1RJH / PZB-M1RJH/M
商品名	在宅用昇降１モーターベッド
ベッド寸法	
商品質量	(1/5)：ベースフレーム　19.6kg　商品質量合計87.2kg (2/5)：センターフレーム　21.0kg　(88.6kg) (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム　17.2kg (4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム　18.8kg (5/5)：ヘッドボード、フットボード　10.6kg (5/5)：宮ヘッドボード、フットボード　12.0kg（PZB-M1RJH/M）
梱包サイズ 梱包重量	(1/5)：1545×835×270　24.0kg (2/5)：1335×945×270　29.0kg (3/5)：1065×995×240　22.7kg (4/5)：1125×960×120　22.5kg (5/5)：1000×605×160　13.6kg (5/5)：1050×640×260　15.2kg（PZB-M1RJH/M）
材　質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木部：ＭＤＦプリント化粧合板、PUコーティング
電動動作	無段階自在式 昇降（床～ボトム面高さ：25㎝～59㎝）
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は４ブロックに分けてあります
定格電圧	ＡＣ100V、50/60Ｈｚ
定格消費電力	120W
最大使用者体重	120ｋｇ/最大使用荷重：1700N
原産国	本体：ベトナム

商品の仕様

型　式	PZB-M2RJ / PZB-M2RJ/M
商品名	在宅用2モーターベッド
ベッド寸法	 ※（　）はPZB-M2RJ/M 昇降ベッドテーブル（別売）の可動範囲（118cm） （※ハイトスペーサー　M2RHJ35（別売）を取付けた場合） キャスター装着時の脚座間の長さ（134cm）
商品質量	(1/5)：ベースフレーム　19.6kg　商品質量合計89.0kg (2/5)：センターフレーム　21.0kg　(90.4kg) (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム　19.0kg (4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム　18.8kg (5/5)：ヘッドボード、フットボード　10.6kg (5/5)：宮ヘッドボード、フットボード　12.0kg（PZB-M2RJ/M）
梱包サイズ 梱包重量	(1/5)：1545×835×270　24.0kg (2/5)：1335×945×270　29.0kg (3/5)：1065×995×240　24.5kg (4/5)：1125×960×120　22.5kg (5/5)：1000×605×160　13.6kg (5/5)：1050×640×260　15.2kg（PZB-M2RJ/M）
材　質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木部：ＭＤＦプリント化粧合板、PUコーティング
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独）、背上げ角度（0°～約70°）、 ひざ上げ角度（0°～約14°）、昇降（床～ボトム面高さ：25㎝～59㎝）
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は４ブロックに分けてあります
定格電圧	ＡＣ100V、50/60Ｈｚ
定格消費電力	120W
最大使用者体重	120ｋｇ/最大使用荷重：1700N
原産国	本体：ベトナム

商品の仕様

型　式	PZB-M3RJ / PZB-M3RJ/M
商品名	在宅用3モーターベッド
ベッド寸法	 ※（　）はPZB-M3RJ/M 昇降ベッドテーブル（別売）の可動範囲（118cm） （※ハイトスペーサーM2RJ-H35（別売）を取付けた場合） キャスター装着時の脚座間の長さ（134cm）
商品質量	(1/5)：ベースフレーム　19.6kg　商品質量合計92.0kg (2/5)：センターフレーム　24.0kg　(93.4kg) (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム　19.0kg (4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム　18.8kg (5/5)：ヘッドボード、フットボード　10.6kg (5/5)：宮ヘッドボード、フットボード　12.0kg（PZB-M3RJ/M）
梱包サイズ 梱包重量	(1/5)：1545×835×270　24.0kg (2/5)：1335×945×270　32.0kg (3/5)：1065×995×240　24.5kg (4/5)：1125×960×120　22.5kg (5/5)：1000×605×160　13.6kg (5/5)：1050×640×260　15.2kg（PZB-M3RJ/M）
材　質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木部：ＭＤＦプリント化粧合板、PUコーティング
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独）、背上げ角度（0°～約70°）、 ひざ上げ角度（0°～約17°）、昇降（床からボトム面高さ：25㎝～59㎝）
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は４ブロックに分けてあります
定格電圧	ＡＣ100V、50/60Ｈｚ
定格消費電力	120W
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重：1700N
原産国	本体：ベトナム

パーツ型式一覧表

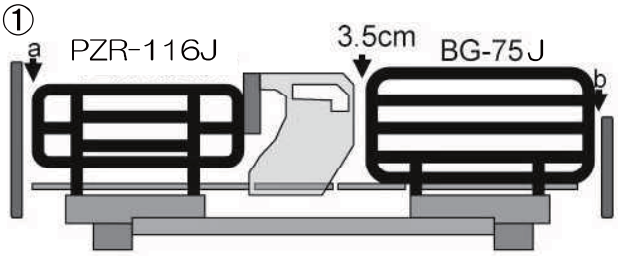
機能別	昇降1M	昇降1M(宮)	背上げ1M	背上げ1M(宮)
上段：セット型式	PZB-M1RJH	PZB-M1RJH/M	PZB-M1RJB	PZB-M1RJB/M
ベースフレーム（カートン）	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA2(1/5)	PZB-MA2(1/5)
ベースフレーム	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA2	PZB-MA2
センターフレーム（カートン）	PZB-MB1（2/5）	PZB-MB1（2/5）	PZB-MB2（2/5）	PZB-MB2（2/5）
センターフレーム	PZB-MB1	PZB-MB1	PZB-MB2	PZB-MB2
ヘッド・フットフレーム（カートン）	PZB-MC1D1（3/5）	PZB-MC1D1（3/5）	PZB-MC2D1（3/5）	PZB-MC2D1（3/5）
ヘッドフレーム	PZB-MC1	PZB-MC1	PZB-MC2	PZB-MC2
フットフレーム	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1
背、ひざ・脚ボトム（カートン）	PZB-ME1F1（4/5）	PZB-ME1F1（4/5）	PZB-ME1F1（4/5）	PZB-ME1F1（4/5）
背ボトム	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1
ひざ・脚ボトム	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1
ヘッド・フットボード（カートン）	PZB-MG1H1（5/5）	PZB-MG2H1（5/5）	PZB-MG1H1（5/5）	PZB-MG2H1（5/5）
ヘッドボード	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2
フットボード	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MH1
機能別	2M	2M(宮)	3M	3M(宮)
上段：セット型式	PZB-M2RJ	PZB-M2RJ/M	PZB-M3RJ	PZB-M3RJ/M
ベースフレーム（カートン）	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)
ベースフレーム	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1
センターフレーム（カートン）	PZB-MB3（2/5）	PZB-MB3（2/5）	PZB-MB4（2/5）	PZB-MB4（2/5）
センターフレーム	PZB-MB3	PZB-MB3	PZB-MB4	PZB-MB4
ヘッド・フットフレーム（カートン）	PZB-MC2D1（3/5）	PZB-MC2D1（3/5）	PZB-MC2D1（3/5）	PZB-MC2D1（3/5）
ヘッドフレーム	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2
フットフレーム	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1
背、ひざ・脚ボトム（カートン）	PZB-ME1F1（4/5）	PZB-ME1F1（4/5）	PZB-ME1F1（4/5）	PZB-ME1F1（4/5）
背ボトム	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1
ひざ・脚ボトム	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1
ヘッド・フットボード（カートン）	PZB-MG1H1（5/5）	PZB-MG2H1（5/5）	PZB-MG1H1（5/5）	PZB-MG2H1（5/5）
ヘッドボード	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2
フットボード	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MH1

適合周辺機器

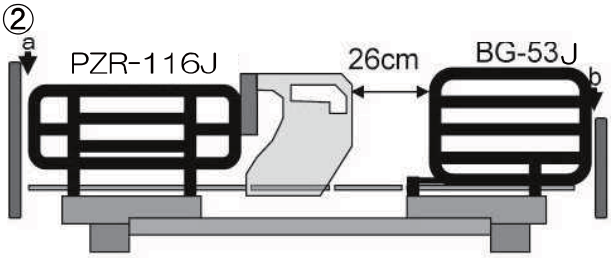
指定商品	サイドレール	BG-75J・BG-96J・BG-53J
	ベッド用グリップ	PZR-116J
	マットレス	推薦マットレス：PFM-8980PN、PFM-LD90Ⅱ、 もしくは下記サイズ、重量を満たす物 サイズ：幅88～91㎝×長さ190～195㎝ 厚　さ：最大厚（サイドレールのみ時:18㎝以下/ベッド用グリップ装着時:15㎝以下）、 最小厚7㎝以上 重　量：34㎏以下
	オーバーテーブル	PGT-400LM
	サイドテーブル	PZT-760、PZT-900LK ※M3RJシリーズ/M2RJシリーズ/M1RJHシリーズに上記テーブルを使用 される場合は、ハイトスペーサーM2RJ-H35を使用するか、キャスター M2RJ-8CKSを装着して下さい。
	床キズ防止 カーペット	PSC-1216SC 床がフローリングなどで滑りやすい材質の場合は、必ず使用して下さい。 ベッドが滑り、怪我の原因となります。
	キャスター	M2RJ-8CKS(M3RJシリーズ/M2RJシリーズ/M1RJHシリーズ) V310R-8CK（M1RJBシリーズ）
	高さ調整用 スペーサー	ハイトスペーサー：M2RJ-H35(M3RJシリーズ/M2RJシリーズ/M1RJHシリーズ) 延長脚：（3.5㎝<PDP-35G>、7㎝<PDP-70G>、14㎝<PDP-140G>）（M1RJBシリーズ）

レール類の組み合わせ

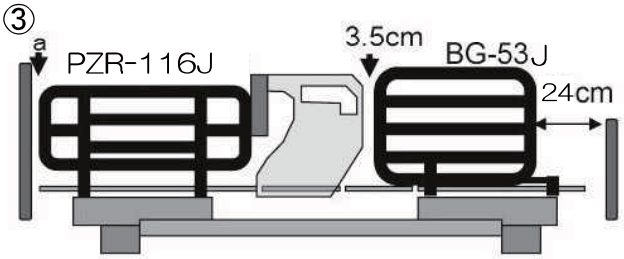
①



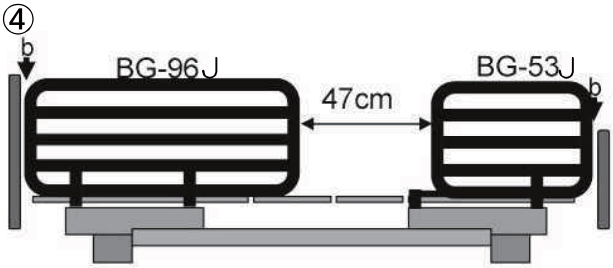
②



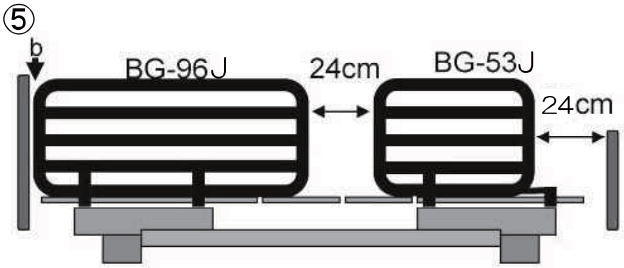
③



④

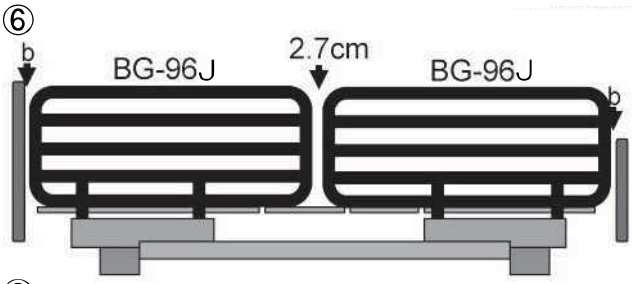


⑤

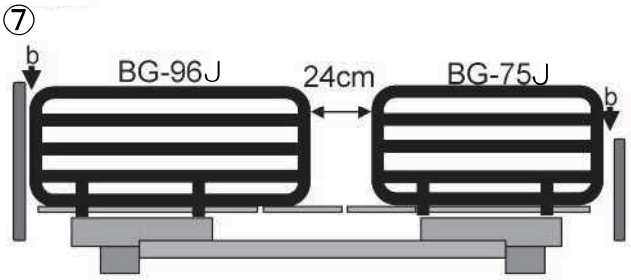


a:2.5cm b:1.5cm

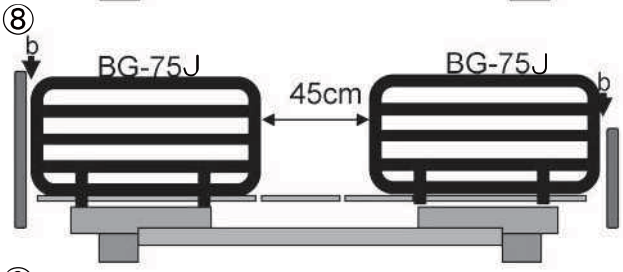
⑥



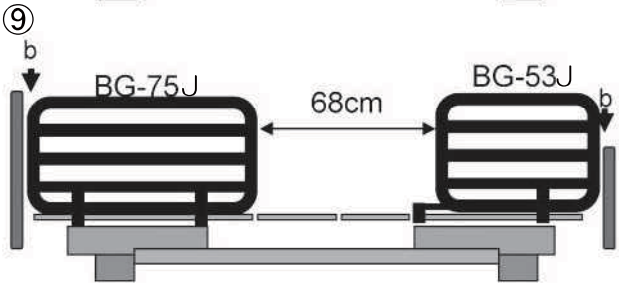
⑦



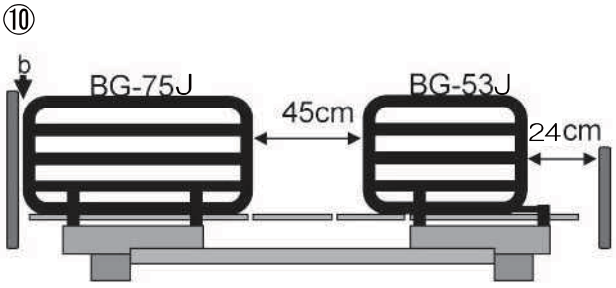
⑧



⑨



⑩



b:1.5cm

●MEMO●

株式会社プラッツ

〒816-0921
福岡県大野城市仲畑2丁目8-28

'09.5月 作成
'09.5

正誤表

この度は、在宅介護用ベッド「ミオレット」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取扱説明書に訂正がございます。取扱説明書と本紙をご覧になって、ご使用下さい。
ご不明な点がございましたら、下記フリーダイヤルまでご連絡くださいますようお願い致します。

---

① 40ページ　商品の仕様　在宅用背上げ1モーターベッド PZB-M1RJB,PZB-M1RJB/M　ベッド寸法

誤	正
・脚座間の長さ　150㎝	・脚座間の長さ　140.5㎝
	・ボトム上面からヘッドボードまでの高さ　43㎝
	・ボトム上面からフットボードまでの高さ　25㎝
	・キャスター装着時の脚座間の長さ　140.5㎝

---

② 41ページ　商品の仕様　在宅用昇降1モーターベッド PZB-M1RJH,PZB-M1RJH/M　ベッド寸法

42ページ　商品の仕様　在宅用2モーターベッド PZB-M2RJ,PZB-M2RJ/M　ベッド寸法

43ページ　商品の仕様　在宅用3モーターベッド PZB-M3RJ,PZB-M3RJ/M　ベッド寸法

誤	正
・脚座間の長さ　145㎝	・脚座間の長さ　133㎝
	・ボトム上面からヘッドボードまでの高さ　43㎝
	・ボトム上面からフットボードまでの高さ　25㎝
	・キャスター装着時の脚座間の長さ　134㎝

---

③ 44ページ　適合周辺機器　キャスター

誤	正
・V310R-8CK（M1RJBシリーズ）	・M1RJB-8CKS（M1RJBシリーズ）

---

④ 44ページ　適合周辺機種　マットレス

誤　最大厚（サイドレールのみ時:18㎝以下/ベッド用グリップ装着時:15㎝以下）

⇩

正　最大厚（サイドレールのみ時:18㎝以下/ベッド用グリップ装着時:18㎝以下）

株式会社プラッツ　〒816-1921 福岡県大野城市仲畑2丁目8-28
フリーダイヤル:0120-77-3433